

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	コクリツガクカホシシマネガク 国立大学法人 島根大学							
フリガナ大学の名称	シマネガク 島根大学 (Shimane University)							
大学本部の位置	島根県松江市西川津町1060							
大学の目的	豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と高度な専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行う。							
新設学部等の目的	<p>国により策定された「革新的環境イノベーション戦略」においては、世界のカーボンニュートラル及び過去のストックベースでのCO2削減（ビヨンド・ゼロ）を可能とする革新的技術を2050年までに確立するための社会実装が目標されている。</p> <p>この戦略の主要な取組である「エネルギー転換」の原動力は、製品を構成する材料・素材の高効率化、高付加価値化に帰着し、省資源化と脱炭素を両立する材料イノベーションが必至となっている。</p> <p>このような緊急性の極めて高い国家的な重要課題に対応するため、材料エネルギー学部では、世界的なエネルギー課題を俯瞰的に理解し、持続可能な社会の構築に材料分野から貢献できる高度専門人材の育成を行う。また、定員増にあたっては、島根の産業の強みである材料・素材分野に目を向け、マテリアル分野での産学官共創によるイノベーション創出に貢献するため、材料工学とインフォマティクスの知見スキルとの融合によりグローバルな視点から企業におけるイノベーションを創出し、デジタル化の推進や地域産業の振興に貢献できる人材の育成を行うことを目的とする。</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	材料エネルギー学部 【Faculty of Materials for Energy】 材料エネルギー学科 【Department of Materials for Energy】	4年	80人	年次人 3年次 5	330人	学士（工学） Bachelor of Engineering	年月 第 年次 令和5年4月 第1年次 令和7年4月 第3年次	島根県松江市西川津町1060
	法文学部 【Faculty of Law and Literature】 法経学科 【Department of Law and Economics】	4	76 (80)		304 (320)	学士（法経） 【Bachelor of Law and Economics】	平成16年度	島根県松江市西川津1060
	社会文化学科 【Department of Socio-cultural Studies】	4	47 (50)		188 (200)	学士（社会科学） 【Bachelor of Social Sciences】	平成16年度	島根県松江市西川津1060
	言語文化学科 【Department of Language and Culture】	4	52 (55)		208 (220)	学士（文学） 【Bachelor of Arts】	平成16年度	島根県松江市西川津1060
	学部共通			3年次10	20			

新設学部等の概要	教育学部 【Faculty of Education】 学校教育課程 【Course of School Teacher Training】	4	130		520	学士（教育学） 【Bachelor of Education】	平成16年度	島根県松江市西川津1060
	人間科学部 【Faculty of Human Sciences】 人間科学科 【Department of Human Sciences】	4	80		320	学士（人間科学） 【Bachelor of Human Sciences】	平成29年度	島根県松江市西川津1060
	医学部 【Faculty of Medicine】							
	医学科 【School of Medicine】	6	90 (102)	3年次 5 2年次 5	585 (652)	学士（医学） 【Bachelor of Medicine】	平成16年度	島根県出雲市塩冶町89-1
	看護学科 【School of Nursing】	4	60		240	学士（看護学） 【Bachelor of Nursing】	平成16年度	島根県出雲市塩冶町89-1
	総合理工学部 【Interdisciplinary Faculty of Science and Engineering】							
	物理工学科 【Department of Applied Physics】	4	60 (73)	3年次 2	244 (296)	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
	物質化学科 【Department of Chemistry】	4	60 (73)	3年次 2	244 (296)	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
	地球科学科 【Department of Earth Science】	4	50	3年次 1	202	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
	数理科学科 【Department of Mathematics】	4	46 (50)	3年次 1	186 (202)	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
知能情報デザイン学科 【Department of Information Systems Design and Data Science】	4	50	3年次 2	204	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	平成30年度	島根県松江市西川津1060	

新設学部等の概要	機械・電気電子工学科 【Department of Mechanical, Electrical and Electronic Engineering】	4	64	3年次 2	260	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
	建築デザイン学科 【Department of Architectural Design】	4	40	3年次 2	164	学士（総合理工学） 【Bachelor of Science and Engineering】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
	生物資源科学部 【Faculty of Life and Environmental Science】							
	生命科学科 【Department of Life Sciences】	4	70	3年次 3	286	学士（生物資源科学） 【Bachelor of Life and Environmental Science】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
	農林生産学科 【Department of Agricultural and Forest Sciences】	4	60	3年次 9	258	学士（生物資源科学） 【Bachelor of Life and Environmental Science】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
	環境共生科学科 【Department of Environmental and Sustainability Sciences】	4	70	3年次 3	286	学士（生物資源科学） 【Bachelor of Life and Environmental Science】	平成30年度	島根県松江市西川津1060
計		1,185 (1,157)	3年次 47 (42) 2年次 5	5,049 (4,946)				
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)	総合理工学部 物理・マテリアル工学科→物理工学科（令和5年4月名称変更予定）（△13）（令和5年4月） 総合理工学部物質化学科（△13）（令和5年4月） 総合理工学部数理科学科（△4）（令和5年4月） 法文学部法経学科（△4）（令和5年4月） 法文学部社会文化学科（△3）（令和5年4月） 法文学部言語文化学科（△3）（令和5年4月）							
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計			
	— 学部	— 科目	— 科目	— 科目	— 科目		— 単位	

教員	学部等の名称	専任教員等					兼任 教員等	
		教授	准教授	講師	助教	計		
組	新	人	人	人	人	人	人	人
				( )	( )	( )	( )	( )
	材料エネルギー学部材料エネルギー学科	12 (10)	6 (6)	1 (1)	4 (4)	23 (21)	0 (0)	28 (29)
	法文学部法経学科	7 (7)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	12 (12)
	法文学部社会文化学科	8 (8)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	10 (10)
	法文学部言語文化学科	6 (6)	12 (12)	3 (3)	0 (0)	21 (21)	0 (0)	7 (7)
	教育学部学校教育課程	33 (33)	14 (14)	9 (9)	2 (2)	58 (58)	0 (0)	56 (56)
	人間科学部人間科学科	8 (8)	10 (10)	6 (6)	2 (2)	26 (26)	0 (0)	66 (66)
	医学部医学科	49 (49)	24 (24)	11 (11)	58 (58)	142 (142)	3 (3)	160 (160)
	医学部看護学科	6 (6)	3 (3)	5 (5)	9 (9)	23 (23)	1 (1)	1 (1)
	総合理工学部物理工学科	7 (7)	5 (4)	1 (1)	4 (5)	17 (17)	0 (0)	165 (165)
	総合理工学部物質化学科	6 (6)	8 (6)	2 (2)	6 (3)	22 (17)	1 (1)	138 (138)
	総合理工学部地球科学科	4 (4)	6 (6)	1 (1)	3 (3)	14 (14)	0 (0)	146 (146)
	総合理工学部数理科学科	6 (6)	3 (3)	2 (2)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	128 (128)
	総合理工学部知能情報デザイン学科	4 (4)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	10 (10)	0 (0)	130 (130)
	総合理工学部機械・電気電子工学科	5 (5)	6 (6)	2 (2)	4 (4)	17 (17)	0 (0)	139 (139)
	総合理工学部建築デザイン学科	4 (4)	2 (2)	0 (0)	5 (5)	11 (11)	0 (0)	151 (151)
	総合理工学部理工特別コース	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
	生物資源科学部生命科学科	13 (13)	11 (11)	0 (0)	4 (4)	28 (28)	0 (0)	69 (69)
	生物資源科学部農林生産学科	7 (7)	12 (12)	0 (0)	5 (5)	24 (24)	0 (0)	82 (82)
	生物資源科学部環境共生科学科	9 (9)	8 (8)	1 (1)	12 (12)	30 (30)	0 (0)	74 (74)
	生物資源科学部附属生物資源教育研究センター	1 (1)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
	計	195 (193)	145 (142)	50 (50)	127 (125)	517 (510)	5 (5)	— —
	既設	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	8 (8)
	教育・学生支援本部	3 (3)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	4 (4)
	研究・学術情報本部	5 (5)	4 (4)	3 (3)	11 (11)	23 (23)	0 (0)	50 (50)
	グローバル化推進本部	3 (3)	7 (7)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	3 (3)
	オープンイノベーション推進本部	0 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	4 (4)
	山陰法実務教育研究センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	こころそだちの相談センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	次世代たたら協創センター	4 (4)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	7 (7)	0 (0)	19 (19)
	計	17 (17)	20 (20)	6 (6)	13 (13)	56 (56)	0 (0)	— —
	合計	212 (210)	165 (162)	56 (56)	140 (138)	573 (566)	5 (5)	— —

R4年6月名称変更  
届出（予定）

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計	大学全体				
	事 務 職 員		296 (296)	0 (0)	296 (296)					
	技 術 職 員		1351 (1351)	0 (0)	1351 (1351)					
	図 書 館 専 門 職 員		11 (11)	0 (0)	11 (11)					
	そ の 他 の 職 員		3 (3)	0 (0)	3 (3)					
	計		1661 (1661)	0 (0)	1661 (1661)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	校 舎 敷 地	261,438㎡	0㎡	0㎡	261,438㎡					
	運 動 場 用 地	90,630㎡	0㎡	0㎡	90,630㎡					
	小 計	352,068㎡	0㎡	0㎡	352,068㎡					
	そ の 他	6,126,723㎡	0㎡	0㎡	6,126,723㎡					
	合 計	6,478,791㎡	0㎡	0㎡	6,478,791㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
		143,774㎡ (143,774㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	143,774㎡ (143,774㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	133室	62室	333室	8室 (補助職員0人)	3室 (補助職員0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		526 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体		
	材料エネルギー学部	980,494[221,604] (980,494[221,604])	14,360[4,514] (14,360[4,514])	7,205[5,733] (7,205[5,733])	7,221 (7,221)	30,355 (30,355)	19 (19)			
	計	980,494[221,604] (980,494[221,604])	14,360[4,514] (14,360[4,514])	7,205[5,733] (7,205[5,733])	7,221 (7,221)	30,355 (30,355)	19 (19)			
図書館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数			大学全体			
		8645㎡	771	911,444						
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
		3,915㎡	野 球 場 2 面	テニスコート 15 面						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		教員1人当り研究費等		-	-	-	-	-	-	
		共同研究費等		-	-	-	-	-	-	
		図書購入費	-	-	-	-	-	-	-	
	設備購入費	-	-	-	-	-	-	-		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		-	-	-	-	-	-			
学生納付金以外の維持方法の概要		-								

大学等の名称	島根大学							
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
法文学部	年	人	年次人	人		倍		島根県松江市西川津町1060
法経学科	4	80	—	320	学士(法経)	1.03	平成16年度	
社会文化学科	4	50	—	200	学士(社会科学)	1.04	平成16年度	
言語文化学科	4	55	—	220	学士(文学)	1.04	平成16年度	
学部共通			3年次 10	20				
教育学部								島根県松江市西川津町1060
学校教育課程	4	130	—	520	学士(教育学)	1.05	平成16年度	
人間科学部								島根県松江市西川津町1060
人間科学科	4	80	—	320	学士(人間科学)	1.04	平成29年度	
医学部								島根県出雲市塩冶町89-1
医学科	6	90	3年次 5 2年次 5	597	学士(医学)	1.00	平成15年度	
看護学科	4	60		240	学士(看護学)	1.00	平成15年度	
総合理工学部								島根県松江市西川津町1060
物理・マテリアル工学科	4	73	3年次 2	296	学士(総合理工学)	1.02	平成30年度	
物質化学科	4	73	3年次 2	296	学士(総合理工学)	1.04	平成30年度	
地球科学科	4	50	3年次 1	202	学士(総合理工学)	1.00	平成30年度	
数理科学科	4	50	3年次 1	202	学士(総合理工学)	1.04	平成30年度	
知能情報デザイン学科	4	50	3年次 2	204	学士(総合理工学)	1.08	平成30年度	
機械・電気電子工学科	4	64	3年次 2	260	学士(総合理工学)	1.03	平成30年度	
建築デザイン学科	4	40	3年次 2	164	学士(総合理工学)	1.01	平成30年度	
生物資源科学部								島根県松江市西川津町1060
生命科学科	4	70	3年次 3	286	学士(生物資源科学)	1.03	平成30年度	
農林生産学科	4	60	3年次 9	258	学士(生物資源科学)	1.03	平成30年度	
環境共生科学科	4	70	3年次 3	286	学士(生物資源科学)	1.03	平成30年度	
人間社会科学研究所								島根県松江市西川津町1060
(修士課程) 社会創成専攻	2	15	—	30	修士(法学) 修士(経済学) 修士(人文社会科学) 修士(人間科学)	1.06 1.03	令和3年度	
臨床心理学専攻	2	10	—	20	修士(臨床心理学)	1.10	令和3年度	
教育学研究所								島根県松江市西川津町1060
(専門職学位課程) 教育実践開発専攻	2	20	—	40	教職修士(専門職)	0.95 0.95	平成28年度	
医学系研究所								島根県出雲市塩冶町89-1
(修士課程) 医科学専攻	2	15	—	30	修士(医科学)	0.75 0.76	平成16年度	
(博士前期課程) 看護学専攻	2	12	—	24	修士(看護学)	0.74	平成15年度	
医学系研究所								島根県出雲市塩冶町89-1
(博士課程) 医科学専攻	4	30	—	120	博士(医学)	1.05	平成20年度	
(博士後期課程) 看護学専攻	3	2	—	6	博士(看護学)	0.83	平成28年度	

既設大学等の状況

既設大学等の状況	自然科学研究科 (博士前期課程) 理工学専攻	2	79	—	158	修士(理学) 修士(工学)	0.98 0.83	平成30年度	島根県松江市西川津町1060
	環境システム科学専攻	2	78	—	156	修士(理学) 修士(工学)	1.07	平成30年度	
	農生命科学専攻	2	43	—	86	修士(生物資源科学) 修士(生物資源科学)	1.06	平成30年度	
	自然科学研究科 (博士後期課程) 創成理工学専攻	3	15	—	45	博士(理学) 博士(工学)	0.53 0.53	令和2年度	

附属施設の概要	(附属学校)
	<p>名称：教育学部附属幼稚園</p> <p>目的：教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに、幼児に関する研究を行うこと。 教育学部の計画に従って、学生の教育実習の実施及びその指導に当たること。 教育研究の成果を広く公開し、地域の幼児教育の振興に寄与すること。</p> <p>所在地：島根県松江市大輪町416-4</p> <p>設置年月：昭和26年4月</p> <p>規模等：建物 912㎡</p>
	<p>名称：教育学部附属義務教育学校</p> <p>目的：児童・生徒の心身の発達に応じて初等・中等教育を施す。また、教育学部の教育研究計画と密接な連携のもとに、初等・中等教育の理論及び実践に関する研究並びにその実証を行うとともに、教育学部の計画に従って、学生の教育実習の実施及びその指導に当たる。さらに、教育研究の成果を広く公開し、公立学校の研究や現職教育に協力して、地域の初等・中等教育の進展に寄与する。</p> <p>所在地：島根県松江市菅田町167-1</p> <p>設置年月：平成31年4月</p> <p>規模等：建物 14,356㎡</p>
	<p>名称：教育学部附属学校学習生活支援研究センター</p> <p>目的：教育学部附属幼稚園及び附属義務教育学校における特別支援教育の改善、充実を図るとともに、理論研究、実践研究をもとに地域における特別支援教育の推進に資する。</p> <p>所在地：島根県松江市菅田町167-1</p> <p>設置年月：平成27年4月1日</p> <p>規模等：建物 478㎡</p>
(学部等の附属施設)	
<p>名称：法文学部山陰研究センター</p> <p>目的：法文学部を中心とした、山陰地域における人文・社会科学の研究拠点として、資料の収集及び研究を積極的に推進し、その研究成果を公表することにより、地域の産業経済及び文化の発展に寄与する。</p> <p>所在地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：平成16年4月</p> <p>規模等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部</p>	
<p>名称：教育学部附属教育支援センター</p> <p>目的：授業科目の履修指導、生活指導及び教育体験活動にかかる学生指導を通じ、学生の教育実践力を特段に高めるとともに、他の教育機関及び地域社会と連携を図り、学生の教育臨床的態度・技能の指導及び地域社会の教育臨床的問題解決に貢献する。</p> <p>所在地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：平成16年4月</p> <p>規模等：建物 教育学部実験研究棟 16,554㎡の一部</p>	

附属施設の概要

<p>名称：教育学部附属教師教育研究センター</p> <p>目的：全学の教職課程を担当し、教職科目の改善を図り、教職課程関連カリキュラムを一元的に管理・運営するとともに、現職教員の資質能力向上に寄与する。</p> <p>所在地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：平成19年4月</p> <p>規模等：建物 教育学部実験研究棟 16,554㎡の一部</p>
<p>名称：教育学部附属FD戦略センター</p> <p>目的：教育学部における教員養成教育の改善、充実に資する教育課程の再編、授業の改善及び事業の企画・実施等のFD（ファカルティ・ディベロップメント）の活動を企画・立案、実施することを通して、山陰地域における教員養成基幹学部としての使命を達成する。</p> <p>所在地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：平成19年6月</p> <p>規模等：建物 教育学部実験研究棟 16,554㎡の一部</p>
<p>名称：医学部附属病院</p> <p>目的：診療を通じて医学の教育及び研究に資する。</p> <p>所在地：島根県出雲市塩冶町89-1</p> <p>設置年月：昭和54年4月</p> <p>規模等：建物 57,972㎡（附属病院棟）</p>
<p>名称：生物資源科学部附属生物資源教育研究センター</p> <p>目的：生物資源科学部の附属教育研究施設として、農学・農業、林学・林業及び日本海における生物・海洋に関する教育・研究並びに森林・耕地・海洋を結ぶ生態系をめぐる物質循環の解明などを学際的に科学する教育・研究を行う。</p> <p>所在地：（本部、農業生産科学部門）島根県松江市上本庄町2059 （森林科学部門）島根県大田市三瓶町多根941-1 （農業生産科学部門）島根県出雲市神西沖町字蛇島2473-1 （海洋生物科学部門）島根県隠岐郡隠岐の島町加茂194</p> <p>設置年月：平成9年4月</p> <p>規模等：建物 8,374㎡（総計）</p>
<p>名称：地域未来協創本部</p> <p>目的：本学の知（地）の拠点大学による地方創生推進事業並びに地域社会における産業技術の振興及び発展等に関する企画・立案・実施等を行い、もって本学の教育・研究及び産学官地域連携の推進並びに地域の未来に関する教育研究活動の支援及び地域社会に向けた情報発信を行う。</p> <p>所在地：（松江キャンパス）島根県松江市西川津町1060 （出雲キャンパス）島根県出雲市塩冶町89-1</p> <p>設置年月：平成30年4月</p> <p>規模等：（松江キャンパス）建物 総合理工学部2号館の一部 （出雲キャンパス）建物 地域未来協創本部 （地域医学共同研究部門） 2,268㎡の一部</p>



(教育・学生支援本部)

名 称：大学教育センター

目 的：全学的な教学マネジメントの確立のもと、高等教育における諸課題を解決するため、本学の教育改革を推進し、教育の質の保証と向上を達成する。

所 在 地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成31年4月

規 模 等：建物 学生センター 1,400㎡の一部  
建物 学生支援センター 656㎡の一部

名 称：保健管理センター

目 的：保健管理に関する専門的業務を一体的に行い、学生及び職員の健康の保持増進を図る。

所 在 地：(松江) 松江市西川津町1060  
(出雲) 出雲市塩冶町89-1

設置年月：平成25年4月

規 模 等：建物 (松江) 479㎡  
(出雲) 大学会館 (出雲) 1,998㎡の一部

名 称：学生支援センター

目 的：学生支援業務を統括的に取り扱い、もって学生生活の充実に寄与する。

所 在 地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成25年4月

規 模 等：建物 学生支援センター 656㎡の一部

名 称：障がい学生支援室

目 的：障がいのある学生の修学に必要な支援を行うとともに、支援の充実に図る。

所 在 地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成28年4月

規 模 等：建物 総合理工学部2号館の一部

名 称：国際観光教育推進センター

目 的：観光業界を中心とした地域産業への貢献、観光人材の育成を図る。

所 在 地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：令和4年4月

規 模 等：建物 学生センターの一部

(研究・学術情報本部)

名称：戦略的研究推進センター

目的：本学が有する知的資産と知的創造力を活用し，地域に密着した個性的な研究及び国際水準の独創的な研究を集中的かつ戦略的に推進し，その成果を教育に反映するとともに広く社会に還元する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成28年4月

規模等：

名称：エスチュアリー研究センター

目的：汽水域の自然・人文・社会環境の研究等及び汽水域に関する総合的かつ学際的な研究を推進し，本学の教育研究活動及び学術交流の活性化を図るとともに，その研究成果を公表することにより，地域社会の発展及び国際学術交流の振興に資する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成28年4月

規模等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部

名称：総合科学研究支援センター

目的：生命，環境，物質・材料創成及びその融合領域に関する総合的な科学研究の深化を図るとともに，各学部等における研究を支援する。

所在地：(松江キャンパス) 島根県松江市西川津町1060

(出雲キャンパス) 島根県出雲市塩冶町89-1

設置年月：平成28年4月

規模等：(遺伝子機能解析部門・松江) 建物 遺伝子実験施設 1,514㎡の一部  
(実験動物部門・出雲) 建物 RI・動物実験施設 3,944㎡の一部  
(生体情報・RI実験部門・出雲) 建物 共同研究棟 2,312㎡  
第二研究棟 3,715㎡の一部

名称：総合情報処理センター

目的：センターに置かれた情報処理システムを整備運用し，学内外の情報ネットワークとの連携を図り，本学における教育，研究その他の情報処理のための利用に供するとともに，学術情報システム等の開発を行い，あわせて人材の育成を支援し，本学における情報処理の進展に資する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成28年4月

規模等：建物 683㎡

名称：地域包括ケア教育研究センター

目的：地域住民の健康維持に関する総合的かつ学際的な研究を推進し，大学の教育研究活動及び学術交流の活性化を図るとともに，その研究成果を公表することにより，地域社会の発展及び国際学術交流の振興に資する。

所在地：島根県出雲市塩冶町89-1

設置年月：平成29年4月

規模等：建物 地域未来協創本部(地域医学共同研究部門) 2,268㎡の一部

名称：総合博物館

目的：本学における標本資料類などを大学所有の有形知的財産として位置づけ，それらを収集，整理・保管及び調査研究をしたうえで，展示公開などによる教育，普及啓発，情報発信の促進及び地域貢献を行う。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成30年6月

規模等：建物 155㎡

名称：自然災害軽減教育研究センター

目的：「地球環境災害軽減に関するユネスコチャート」の目的である「地球環境と社会のより良好な関係の構築」に向けた教育と研究を促進し、本学の教育研究活動及び国際的学術交流の活性化を図るとともに、社会の発展に資する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成30年4月

規模等：総合理工学部3号館の一部

名称：数理・データサイエンス教育研究センター

目的：エビデンスに基づく意思決定、価値創造を行うことができるデータ駆動型の人材を幅広く養成するため、数理・データサイエンスに関する研究の推進及び支援を行うとともに、数理・データサイエンス教育を全学的に推進することにより、本学の数理・データサイエンス教育研究活動の充実発展に資する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成30年4月

規模等：生物資源科学部3号館 107m<sup>2</sup>

名称：新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター

目的：新型コロナウイルス感染症など国産のワクチン・治療用抗体の開発を図る。

所在地：島根県出雲市塩冶町89-1

設置年月：令和4年4月

規模等：建物 出雲キャンパス（塩冶団地）基礎研究棟の一部

(グローバル化推進本部)

名称：国際センター

目的：本学の国際化及び国際交流の推進に向けて、各種事業の企画・立案をするとともに、外国人留学生及び海外留学を希望する学生に対し、積極的な支援等を行うことにより、本学の国際交流の推進に寄与する。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成25年4月

規模等：建物 総合理工学部2号館の一部

名称：外国語教育センター

目的：外国語教育の知的拠点として、言語的コミュニケーション能力を培う教育を行うことのほか、外国語教育を通じて総合的な知性・教養・人格を形成し、異文化理解と共生文化の創造に資する教育を行う。

所在地：島根県松江市西川津町1060

設置年月：平成25年4月

規模等：建物 総合理工学部2号館の一部

名称：島根大学・寧夏大学国際共同研究所

目的：都市と農村との地域間格差問題、中山間地域（条件不利地域）の活性化、開発と環境問題などを主要なテーマとして共同研究を行い、研究成果をアジアをはじめとする世界に発信するとともに、人材の育成・交流の積極的な展開、国内外の研究者に開かれた中国・西部地域研究の拠点づくりを目指す。

所在地：中国、寧夏、銀川市西夏区賀蘭山西路489号 寧夏大学A区

設置年月：平成16年4月

規模等：建物 2,794m<sup>2</sup>

<p>名 称：オープンイノベーション推進本部</p> <p>目 的：産学官連携の推進を図り，外部研究資金等の獲得力の強化，並びに知的財産戦略・コンプライアンス体制の充実により，本学の自律的経営を確立すると共に，本学の研究成果の社会実装を強化することを目的とする。</p> <p>所 在 地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：令和3年4月</p> <p>規 模 等：建物 総合理工学部2号館 3階 54㎡</p>
<p>名 称：次世代たたら協創センター</p> <p>目 的：企業等と連携して，金属材料評価技術等の研究及び新たな金属材料や複合材料等の研究・開発を行い，その成果を実用化に結び付けていくと共に，金属材料関連の専門人材を育成することを目的とする。</p> <p>所 在 地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：平成30年10月</p> <p>規 模 等：建物 次世代たたら協創センター 1,845㎡ 建物 生物資源科学部2号館（大学院棟） 1階124㎡</p>
<p>名 称：附属図書館</p> <p>目 的：図書，学術雑誌その他必要な資料を収集，組織，保管し，これを利用者の教育・研究・学習等の要求に対して提供し，併せて学術情報システム活用場として機能することにより，島根大学における教育研究活動を支援するとともに，地域社会の知的情報拠点としての役割を果たす。</p> <p>所 在 地：（本館）島根県松江市西川津町1060 （医学図書館）島根県出雲市塩冶町89-1</p> <p>設置年月：（本館）平成28年4月 （医学図書館）平成28年4月</p> <p>規 模 等：（本館）建物 6,834㎡ （医学図書館）建物 1,819㎡</p>
<p>名 称：山陰法実務教育研究センター</p> <p>目 的：本学が有する知的資産を有効に活用し山陰地域における法実務教育を行うとともに，そのための教育プログラム及び教育研究体制に関する調査研究を行い，もって山陰地域における法学教育の充実発展に寄与する。</p> <p>所 在 地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：平成26年2月</p> <p>規 模 等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部</p>
<p>名 称：こころとそだちの相談センター</p> <p>目 的：心の健康に関する相談に応じて地域社会に貢献するとともに，心理臨床に関する高度な知識と技能を有する専門家の養成に資する。</p> <p>所 在 地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：平成29年4月</p> <p>規 模 等：建物 教育学部実験研究棟 16,554㎡の一部</p>
<p>名 称：ダイバーシティ推進室</p> <p>目 的：島根大学において，ダイバーシティの推進，女性研究者支援及びワーク・ライフ・バランスの推進に関する具体的事業を企画・立案・実施することにより，より多様な人材がその能力を発揮できる環境を整え，本学の教育・研究の質をより一層向上させる。</p> <p>所 在 地：島根県松江市西川津町1060</p> <p>設置年月：令和元年10月15日</p> <p>規 模 等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部</p>

附属施設の概要	名称：ハラスメント対策室 目的：ハラスメント対策室は、島根大学の全学的なハラスメント防止とハラスメント事案への対応の充実を図り、ハラスメントのない健全で快適な環境づくりに資する。 所在地：島根県松江市西川津町1060 設置年月：平成29年4月1日 規模等：建物 法文学部棟 7,631㎡の一部
---------	--

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

島根大学 設置申請に関わる組織の移行表

令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
島根大学				島根大学				
法文学部	185	3年次 10	760	法文学部	175	3年次 10	720	
法経学科	80	-	320	法経学科	76	-	304	定員変更(△4)
社会文化学科	50	-	200	社会文化学科	47	-	188	定員変更(△3)
言語文化学科	55	-	220	言語文化学科	52	-	208	定員変更(△3)
学部共通		10	20	学部共通		10	20	
教育学部	130	-	520	教育学部	130	-	520	
学校教育課程	130	-	520	学校教育課程	130	-	520	
人間科学部	80	-	320	人間科学部	80	-	320	
人間科学科	80	-	320	人間科学科	80	-	320	
医学部	162	2年次 5 3年次 5	837	医学部	150	2年次 5 3年次 5	825	「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について(通知)」に基づき、令和4年度に12名の定員増。令和5年度においても引き続き同様の枠組みによる医学部入学定員の確保を検討しているが、現時点では未確定のため、本移行表には反映させていない。
医学科	102	2年次 5 3年次 5	597	医学科	90	2年次 5 3年次 5	585	
看護学科	60	-	240	看護学科	60	-	240	
総合理工学部	400	3年次 12	1,624	総合理工学部	370	3年次 12	1,504	
物理・マテリアル工学科	73	2	296	物理工学科	60	2	244	定員変更(△13)、名称変更
物質化学科	73	2	296	物質化学科	60	2	244	定員変更(△13)
地球科学科	50	1	202	地球科学科	50	1	202	
数理科学科	50	1	202	数理科学科	46	1	186	定員変更(△4)
知能情報デザイン学科	50	2	204	知能情報デザイン学科	50	2	204	
機械・電気電子工学科	64	2	260	機械・電気電子工学科	64	2	260	
建築デザイン学科	40	2	164	建築デザイン学科	40	2	164	
生物資源科学部	200	3年次 15	830	生物資源科学部	200	3年次 15	830	
生命科学科	70	3	286	生命科学科	70	3	286	
農林生産学科	60	9	258	農林生産学科	60	9	258	
環境共生科学科	70	3	286	環境共生科学科	70	3	286	
計	1,157	2年次 5 3年次 42	4,891	計	1,185	2年次 5 3年次 47	5,049	
島根大学大学院				島根大学大学院				
人間社会科学研究科	25		50	人間社会科学研究科	25		50	
社会創成専攻(M)	15		30	社会創成専攻(M)	15		30	
臨床心理学専攻(M)	10		20	臨床心理学専攻(M)	10		20	
教育学研究科	20		40	教育学研究科	20		40	
教育実践開発専攻(P)	20		40	教育実践開発専攻(P)	20		40	
医学系研究科	59		180	医学系研究科	59		180	
医科学専攻(M)	15		30	医科学専攻(M)	15		30	
医科学専攻(D)	30		120	医科学専攻(D)	30		120	
看護学専攻(M)	12		24	看護学専攻(M)	12		24	
看護学専攻(D)	2		6	看護学専攻(D)	2		6	
自然科学研究科	215		445	自然科学研究科	215		445	
理工学専攻(M)	79		158	理工学専攻(M)	79		158	
環境システム科学専攻(M)	78		156	環境システム科学専攻(M)	78		156	
農生命科学専攻(M)	43		86	農生命科学専攻(M)	43		86	
創成理工学専攻(D)	15		45	創成理工学専攻(D)	15		45	
計	319		715	計	319		715	

○都道府県内における位置関係の図面

## 島根県



● …島根大学松江キャンパスの位置

● …島根大学出雲キャンパスの位置

○最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面



J R 松江駅より

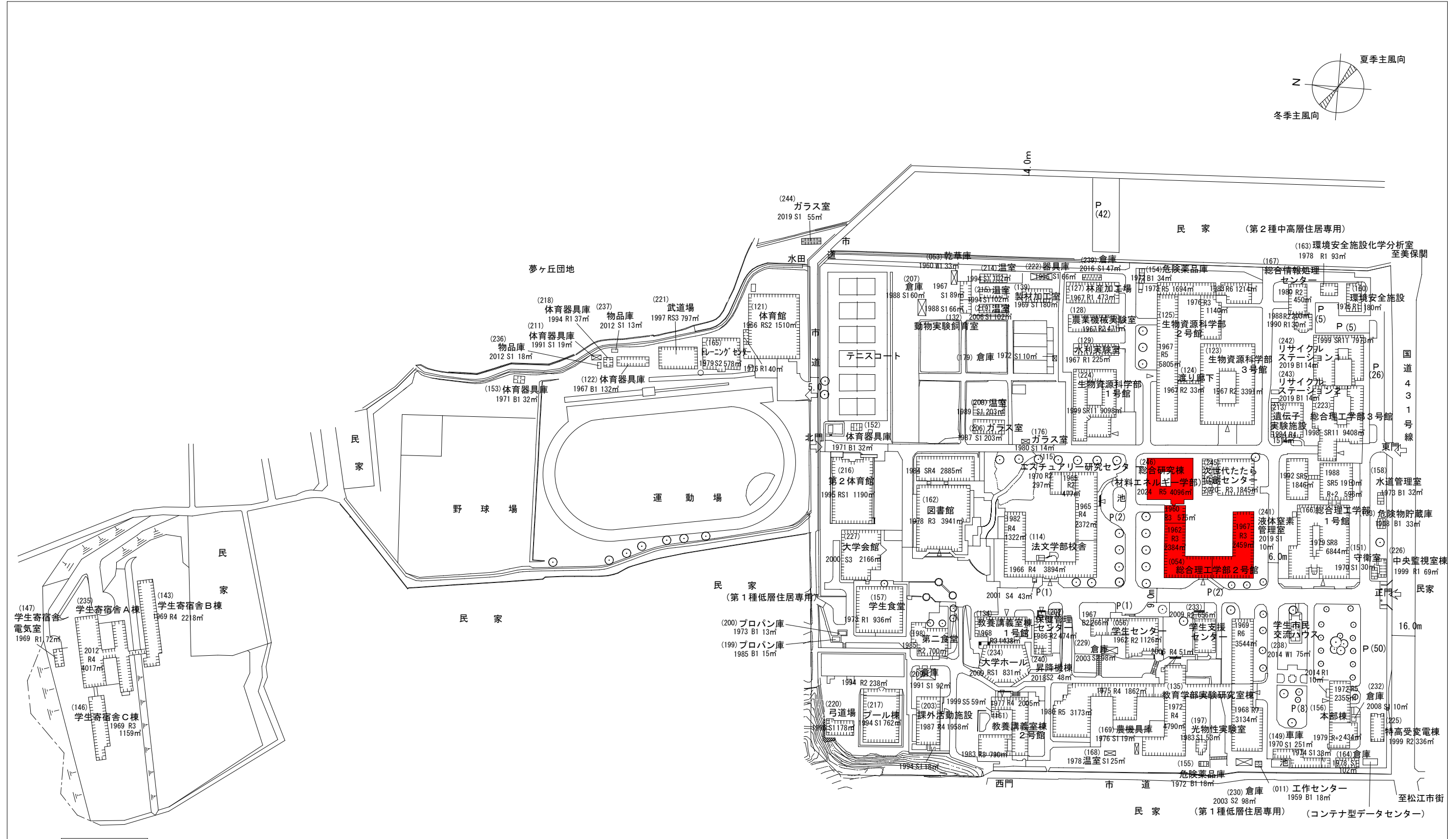
距離：2.8km

市営バス：島根大学前下車 約15分～20分

一畑バス：島根大学前下車 約20分

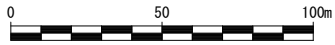


配置図



学生寄宿舍

S = 1 : 2500



敷地面積	建築面積	建物延面積	建ぺい率	容積率	全学生数	学部等名	団地番号	団地名	所在地名	学校番号	学校名	作成年度
201,195㎡	40,911㎡	126,755㎡	20.7%	62.1%	4,589人	法文学部、教育学部、人間科学部、生物資源科学部、総合工学部 地域未来協創本部、教育・学生支援本部、研究・学術情報本部 グローバル推進本部、次世代たたら協創センター、大学図書館 大学事務局施設、学生寄宿舍、大学センター等	001	川津	松江市西川津町1,060	0512	島根大学	R4

# 島根大学

## 学則変更の趣旨等を記載した書類

### 目次

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	1
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	1
	○島根県の現状と課題	1
	○島根大学の中長期ビジョン	2
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	3
	（教育課程）	3
	（材料エネルギー学部のカリキュラムの特色）	3
	（教育方法及び履修指導方法）	4
	（教員組織）	5
	（施設・整備）	6

## 学則変更の趣旨等を記載した書類

### ア 学則変更（収容定員変更）の内容

令和5年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増について、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増に関する審査会」における審査を踏まえ、令和4年6月10日に島根大学材料エネルギー学部材料エネルギー学科を設置する島根大学の取組構想が選定された。（参考資料1）

具体的には、島根大学材料エネルギー学部材料エネルギー学科（仮称）を設置するにあたり、定員増40人を含む本学部の令和5年度入学定員80人が認められた。

本選定結果を踏まえ、本学に「材料エネルギー学部材料エネルギー学科」を設置する。なお、本学部の学生定員は80人（うち定員増40人、学内振替40人）、3年次編入学定員5人とする。その際、学生定員の学内振替については、法文学部から10人（うち法経学科4人、社会文化学科3人、言語文化学科3人）、総合理工学部から30人（うち物理・マテリアル工学科13人、物質化学科13人、数理科学科4人）とする。また、材料エネルギー学部の設置に伴い、総合理工学部物理・マテリアル工学科は物理工学科へ名称変更を行う。

### イ 学則変更（収容定員変更）必要性

#### ○ 島根県の現状と課題

本学が所在する島根県の現状について、島根県の人口は、約67万人で、近年、毎年、約6千人の減少が続いている。特に、15歳～24歳の年齢層では、約1,600人が進学・就職の際、県外に流出している状況である。県内には4年制大学が本学と島根県立大学の2校しかなく、仮に、2校の全定員を県内進学者が占めたとしても、毎年、1,000人以上が県外に進学せざるを得ない構造的課題がある。さらに、県内の工学系の定員は154人であり、近隣県の国立大学と比較して島根県の工学系の定員は圧倒的に少ない状況である。（参考資料2）

そのような中、地方版総合戦略として「島根創生計画」を掲げる島根県においては、その実現に向け「活力ある産業づくり」に取り組んでいる。中でも域外から「外貨」を獲得するマテリアル関連産業のシェアは41%で県の経済を牽引する主要産業である。また、現在、カーボンニュートラルに向けた産業構造の変革を機に、県内マテリアル関連産業についても、研究開発型への転換を図ることが重要であり、そのために必要な「研究開発力の強化」と「高度専門人材の確保・育成」に産学官一体で取り組むこととしている。（参考資料3）

## ○ 島根大学の中長期ビジョン

本学としては、平成 28 年度に策定した「島根大学未来戦略 (SMART20)」の検証結果を踏まえながら、また、第 4 期中期目標大綱の趣旨や島根大学憲章、島根大学の SDGs 行動指針に則り、独自の将来構想の観点から中期的ビジョンとしての「島根大学ビジョン 2021」を令和 3 年 3 月に策定した。この中で、ビジョンを「教育」「研究」「地域・社会連携」「経営戦略」の 4 項目に整理し、それを実現するための 17 の目標、62 の戦略を定めている。

「島根大学ビジョン 2021」の研究ビジョンにおいて、「本学の特色と強みである特定領域における世界トップレベルの研究を基幹研究として強力に推進し、グローバルな研究拠点を形成する」ことを目標に掲げ、強みのある特定領域の研究をさらに伸ばしていくこととしている。

また、地域・社会連携ビジョンにおいては、「地域産業の強み、特色をさらに伸張させる研究や地域社会の複合的な課題の解決に資する研究を推進し、地域の活性化・発展に貢献する」ことを目標に掲げ、「地域や地域産業の活性化に資する研究について、学術的価値がさらに高まる研究を推進し、それを産業界に還元する」旨の戦略を定め、研究成果の社会における応用や実用化に向けた取組を強化することとしている。

さらに、経営戦略ビジョンにおいて、「ガバナンスを強化し機動的な経営を推進すると共に、規制緩和により拡大される経営裁量を最大限に活かし、多様かつ安定的な財源の確保と運用を行い、持続的・自律的経営を実現する」ことを目標に掲げ、「社会や地域ニーズに則した組織整備や規制緩和される学生定員等の柔軟化に対応するなど大学の機能を強化する」戦略のもと、地方大学・地域産業創生交付金事業「先端金属素材グローバル拠点の創出・Next Generation TATARA Project - (H30~R4) (以下「たたらプロジェクト」という。)」における次のステージとして、材料工学分野における高度専門人材を育成するための体制を整備することとしている。(参考資料 4)

令和 4 年度から開始する第 4 期中期計画においても「島根県の主要産業である金属、特殊鋼関連産業を振興し、地域に新たな雇用を創出するため、マテリアル・金属素材に関する産学共同研究を推進するとともに、材料工学を対象とする専門人材育成プログラムを中心に地域における金属、特殊鋼関連産業を継続的に発展させる人材を養成する」こととしている。さらに、材料工学分野における高度専門人材を育成するための体制整備については、島根県における地域連携プラットフォームである「しまね産学官人材育成コンソーシアム」において策定した「島根県版高等教育のグランドデザイン」の下、地域の産業や雇用創出の中核を担う工学系学部を設置する旨を明言している。(参考資料 5)

このように、中長期ビジョンにおいては、世界トップレベルの研究拠点の形成だけではなく、金属材料分野を中心とする材料工学分野での高度専門人材の育成につなげ、地域の産学共創の場としての島根版フラウンホーファーを確立していくことを目指しており、先鋭的な学部形成により大学改革・地方創生を

実現するロールモデルとなるべく教育・研究・産学連携機能の更なる強化に向けて取り組む必要があるため、「令和5年度魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」の選定結果を踏まえ、学則変更（収容定員変更）を行う。

#### ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

##### （教育課程）

材料エネルギー学部では、たたらプロジェクトで培った金属材料分野における世界最高水準の研究力に裏打ちされた教育をベースに、島根県や県内におけるマテリアル関連企業が求めている材料工学分野での産業界の研究開発力と基盤技術を支えるための高度専門人材を育成する。（参考資料6）

本学部の教育課程では、まず全学共通科目として主に1～2年次を中心に開講される「基礎科目」「教養育成科目」において、専門分野の域を超えて、島根大学の学生に共通に求められる基礎的な力や幅広い知識を育成する。

また、専門教育のカリキュラムの特色は、以下の5点であり、詳細は別添の教育課程等の概要のとおりである。

##### （材料エネルギー学部のカリキュラムの特色）

- 材料科学の専門知識
- マテリアルズ・インフォマティクスに資するデータサイエンス教育
- グローバルな感性を養い専門性を高める海外大学との連携教育
- 産業振興に直結する社会実装教育
- 社会実装を見据えたプロジェクト型演習

本学部の教養教育は、教育・学生支援本部大学教育センターのもとで全学的に運営されている。全学共通科目として開講される「基礎科目」「教養育成科目」について、「基礎科目」には、「外国語」、「健康スポーツ／文化・芸術」、「情報科学」、「数理・データサイエンス」があり、「教養育成科目」では「入門科目」、「発展科目」、「社会人力養成科目」が実施されている。

また、専門教育科目において、他学部等に所属する教員が担当する科目は少数である。よって、本学部の教育課程が他学部等の教育体制に与える影響はきわめて限定的であり、問題はないと考える。

(教育方法及び履修指導方法)

本学部の教育方法の特色としては主に以下の点があげられる。(参考資料7)

#### ○材料科学の専門知識

先端金属材料、バイオマテリアル、ナノ・機能性材料、エネルギーに関連する材料科学の専門知識に関して、「材料組織学」、「材料物理化学」、「材料系エンジニアのためのエネルギー概論」などの科目を配置し、エネルギー課題を俯瞰的に理解し、材料工学分野の知識・技能を身に付け新材料の研究開発を先導することができる力を身に付ける。

#### ○マテリアルズ・インフォマティクスに資するデータサイエンス教育

材料科学を深化させるツールを修得するため、プログラミング演習、機械学習のための基礎的なデータ処理技術を修得できる「マテリアルズ・インフォマティクス基礎」、「データ構造とアルゴリズム」や「相平衡の熱力学と状態図入門」などの科目を配置し、IoT・データ活用技術を習得し、材料工学分野を始め広く応用することができる力を身に付ける。

#### ○グローバルな感性を養い専門性を高める海外大学との連携教育

多様な価値観を持ち、徹底した英語教育を実施するため、オックスフォード大学やヘルシンキ大学と連携の上、対面やオンラインによる授業の実施、英国・フィンランドなど欧州での長期海外留学などの学生交流を行う。専門科目に「海外研修」、「Materials Science」、や「Introduction for polymer colloids and interfaces」などの科目を配置するなど、国際的な動向を認知し、広い視野、教養と協調性により、多様な人とコミュニケーションを取ることができる力を身に付ける。

#### ○産業振興に直結する社会実装教育

デザイン思考の学び、社会を創造する力を育成するため、アントレプレナーシップや事業化に向けた経営・設計・マネジメント関連を学ぶ「新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道」、「MOT・技術者倫理概論」、「地域創生論」などの科目を配置し、未知の課題に粘り強く取り組み、デザイン力をもって、創造的に解決策を見出すことができる力を身に付ける。

## ○社会実装を見据えたプロジェクト型演習

企業ニーズを踏まえた主体的な学びを促すため、企業の実課題を題材にしたチームプロジェクト演習等を行う「新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り」、「企業実践プロジェクト演習」、「実践インターンシップ」などの科目を配置し、地域課題を理解し、身に付けた知識・技能を地域貢献に活かすことができる力を身に付ける。

また、本学部における履修指導は、以下の点を踏まえて行う。

- ① 履修登録、成績、単位の取得等に関する全般的な履修指導は、新学年の授業開始前に実施するガイダンスにて詳しく行う。その際、本学部の履修の手引等を配布し、それらを参照しながら履修登録や学習に対する学生の理解を確認する。
- ② シラバスには、授業科目名、授業の目的、達成目標（達成度）、授業の内容、授業の進め方、テキスト及び成績評価の方法等が明確に記載されていることを周知し、選択科目についてはそれらを熟読して自らの学習目標の実現を助ける科目を適切に選択するように指導する。
- ③ 履修登録や教務に関連した情報の提供は、学内掲示板の他、全学的に運用されている学務情報システム「Campus Square」により行う。
- ④ 各学生にはチューター（指導教員）1名をつけ、履修指導、生活指導等を行う。

以上のように、本学部の教育方法については、本学の教育方針にもとづき本学部が主体的に設定し実施する。また、履修指導についても本学部が責任をもって行う。よって、これらが他学部等に影響を与えるものではないものと考えられる。

### （教員組織）

本学部の専任教員については23名としている。

具体的には、学内の総合理工学部の担当教員から4名、次世代たたら協創センター（NEXTA）から1名の計5名を配置転換するほか、学外から計18名を招聘する。

学外からの招聘に当たっては、学長のリーダーシップの下で整備した人件費の一元管理・再配分の仕組みを活用して、学外から機動的に配置を行う。

具体的には、東北大学からマテリアル関係の専門家、大阪大学からコンピューティング関連の専門家等を招聘するとともに、クロスアポイントメント制度の活用や著名な研究者による授業の提供など行う。専門分野の専任教員は全員博士号をもち、十分な研究業績と専門性を有する。これにより学部内で高度な

研究体制を維持することが可能である。なお、兼任教員についても、いずれもその分野において十分な経験や学識を有する人材を採用する。

学内で配置転換する教員の現所属は総合理工学部物理・マテリアル工学科の専任教員 2 名、物質化学科の専任教員 2 名となっているが、両学科それぞれ学生の収容定員 52 名分振替を行うため、それぞれの学科の学生定員に対する専任教員の S/T 比は、現状と比して 0.3 ポイント程度減少するものの、両学科とも新学部と連携した教育・研究を実施することから、本学部が設置されることにより他学部等の教員組織に与える影響はきわめて限定的であり、問題はないと考える。

#### (施設・設備)

本学部では、エネルギー課題に対して材料科学分野からの理解・解決を目指し、カーボンニュートラルや SDGs の実現に向け社会実装に資する教育・研究を推進するために、既存施設の大規模改修・改築・増築を行うこととしている。

具体的な特徴としては、社会実装を見据えたプロジェクト演習等を行うために、フレキシブルに使用形態が変更できるアクティブラーニングスペースを確保するとともに、地元産業界のニーズに対応したプロジェクトや共同研究等に活用できるよう産学共創スペースを設置する。

また、基礎的な実験技術習得や高度な研究に対応できるよう、大型機器実験室を含む多数の実験室を設け、それぞれの研究テーマに応じた、専門的な実験機器を設置することで、高度な実験が可能な環境を整える。

実験室以外にも、講義室に加え ICT 演習室、教員室、研究室等も整備し、研究教育活動としても十分な環境を担保している。

また、本学図書館は資料収集方針として、シラバス掲載の教科書や参考図書等のシラバス関連図書等を最優先で購入し、毎年更新することで、利用頻度が特に高い新刊書を整備する予定である。また、この方針は今後も継続していく予定である。さらに、今回開設予定の材料エネルギー学部に関連する分野、即ち材料科学、インフォマティクス等に関わる図書資料（雑誌を含む）は十分に整備されているが、材料科学やインフォマティクス、エネルギー関連技術の進展に対応すべく随時更新を進め、教育・研究環境の充実を図る。

以上より、本学部が設置されることにより、他学部学科の施設・設備に与える影響はきわめて限定的であり、問題はないと考える。



## 島根大学

### 学則変更の趣旨等を記載した書類

#### 資料目次

参考資料 1	令和5年度 魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増の選定結果…	1
参考資料 2	島根県の現状・課題…	3
参考資料 3	島根県の産業構造と発展の方向性…	4
参考資料 4	地方大学・地域産業創生交付金事業の取組…	5
参考資料 5	緊密な地域連携体制の構築と新学部の位置づけ…	6
参考資料 6	材料エネルギー学部の設置による地方創生…	7
参考資料 7	カリキュラムの特色…	8
	教育課程等の概要…	9



令和4年6月10日

## 令和5年度 魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増 の選定結果をお知らせします

令和5年度の魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増について、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増に関する審査会」における審査を踏まえ、以下のとおり決定いたしましたので、お知らせします。

### 1. 定員増の概要

魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学における定員増は、大学が地域貢献の役割や自らの存在価値を自覚し、地方公共団体、地元産業界、他の公私立大学等を巻き込んだ上で、地域のニーズを踏まえた大学の特色と強みを最大限に生かした取組を通じ、地方創生に資する魅力ある地方大学の実現のために、特例的かつ限定的に実施することとしております。

今回、選定結果を公表する令和5年度の定員増については、令和3年12月10日付けで各国立大学法人宛に公募を行い、4月15日〆切で取組構想の申請を受け付けました。

2. 申請件数 : 5大学5件

3. 審査結果（選定件数） : 3大学3件（別紙のとおり）

### 4. 審査状況

各申請内容について、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増に関する審査会」において審査（ヒアリング審査）を実施。

<別添1>魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増に関する審査会 委員一覧

<別添2>令和5年度 魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増 公募要領

<担当> 高等教育局国立大学法人支援課  
課長補佐 石川 真理（内線 3337）  
支援第4係 市橋 範之（内線 3754）  
電話：03-5253-4111（代表）

## 令和5年度 魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増 選定一覧

整理番号	大学名	取組構想名	対象学部・学科名	令和4年度 入学定員 (人)	令和5年度 入学定員 (人)	増加数 (人)	備考 ※審査の結果、定員増が認められた部分について下線を付す
1	島根大学	材料エネルギー学部による産業変革先端拠点の創出 ～“マテリアル・イノベーション”人材養成を起爆剤とした 大学改革・エネルギー変革・島根創生の実現～	材料エネルギー学部 材料エネルギー学科 (仮称) 【新設】	0	80	80	・増加数 [80人] の内訳 定員増 : 40人 学内措置 : 40人
2	広島大学	広島が牽引する「デジタル田園都市国家構想」 ～DX推進人材が切り拓く地方創生～	情報科学部 情報科学科 【既設】	80	150	70	・増加数 [70人] の内訳 定員増 : 50人 学内措置 : 20人
3	徳島大学	次世代ひかりトクシマ若者雇用創出計画 ～『医光/医工融合人材』が切り拓く新たな地方創生～	理工学部 理工学科 【既設】	595	625	30	・増加数 [30人] の内訳 定員増 : 30人 (令和7年度以降、学内措置で▲15人を実施)

# 島根県の現状・課題

人口減少・少子高齢化、若者の県外流出による**生産年齢人口の減少**が最大の課題。  
**県内に2大学しかなく収容力不足。工学系は島根大学のみ。**

## 現状・課題

- 2020年の人口は約67万人（約30年間で▲10万人）  
2021年も▲6,319人（約1%減）
- 2021年の15歳～64歳の生産年齢人口は約35万人と年々減少  
**特に15歳～24歳の若者が進学や就職を機に県外へ流出**  
**【社会増減 ▲1,616人】**



**企業の労働力不足**      **地域の持続可能性**  
 深刻な課題

- 産業構造は脆弱  
 （県内に本社を置く上場企業は3社のみ。県内企業の99%が中小企業）

## 強み・特色

- たたら製鉄を源流とする鉄鋼業等の素材産業  
 （開発・加工技術）に強み

## 対策

地方版総合戦略「**島根創生計画**」（2020-2024）

### ○目指す将来像

「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」



⇒ **2030年までに社会増減の均衡を目指す**

### 基本目標Ⅰ **活力ある産業をつくる**

- ものづくり・IT産業の振興
- 産業の高度化の推進
- 成長を支える経営基盤づくり

### 基本目標Ⅳ **島根を創る人をふやす**

- 学校と地域の協働による人づくり
- 地域を担う人づくり
- 若者の県内就職の促進

## 高等教育機関の現状・課題

**収容力不足**

県内の高校

R2 大学進学  
2,722人

卒業生 5,949人

県内の大学

入学定員  
1,617人

4年制大学は2大学のみ  
（私立大学はない）



国立大学法人  
島根大学

**うち工学系154人**



公立大学法人  
島根県立大学

うち工学系 0人

**毎年1,000人を超える  
社会減を生む構造**

### ✓ 今後の18歳人口減を考慮しても収容力不足は顕著

学校基本調査より2032年の18歳人口を推計 → 5,662人  
 進学率を42%（R2実績）とした場合の進学者 → 2,378人  
 ⇒ 入学定員1,617人に対して761人不足（収容率68%）

### ✓ 工学系の定員は154人と近隣大学と比べ少ない

島根大学	鳥取大学	岡山大学	広島大学	山口大学
154	450	610	445	530

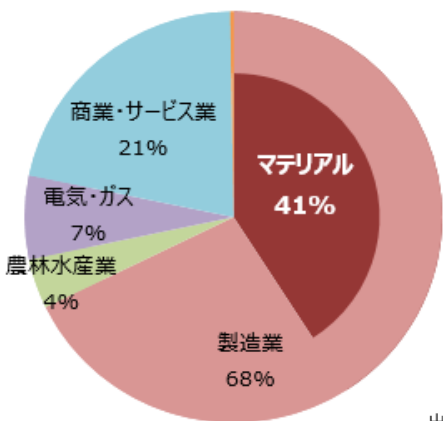
⇒ **島根創生「ものづくり産業の振興」に必要な工学系人材が不足**

# 島根県の産業構造と発展の方向性

産業構造の変化が進む中、地域経済の発展のためには、本県の強みであるマテリアル関連産業（素材+加工）を軸とした**研究開発力の強化と高度専門人材の確保・育成が必須**

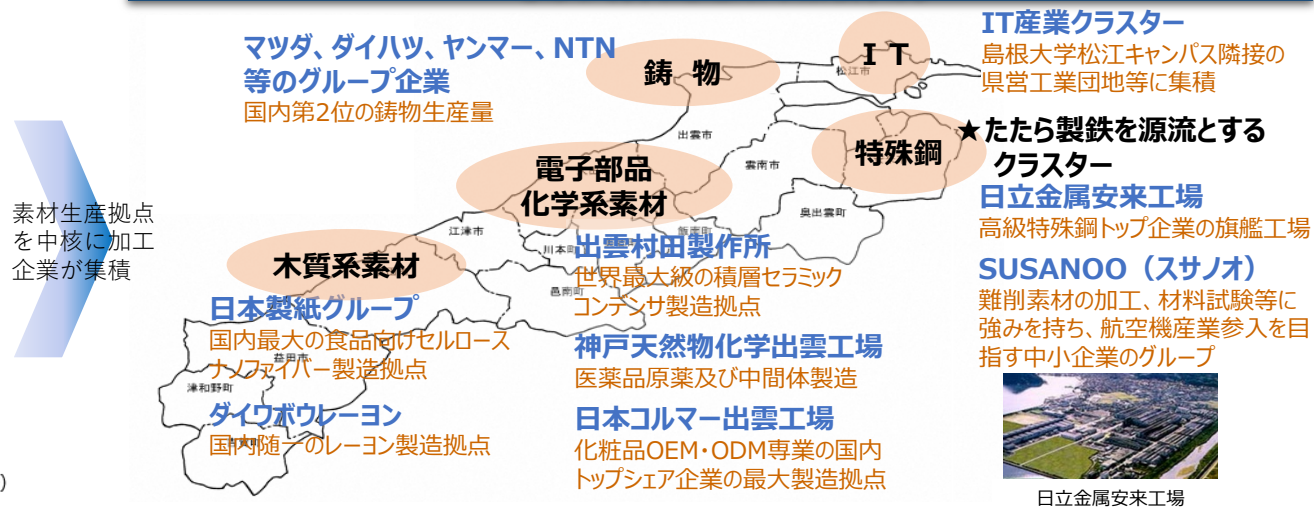
## 島根県の産業構造

外貨獲得シェア（島根県）  
（移輸出額構成比）



マテリアル関連産業は、域外から「外貨」を獲得する主要産業として県経済を牽引

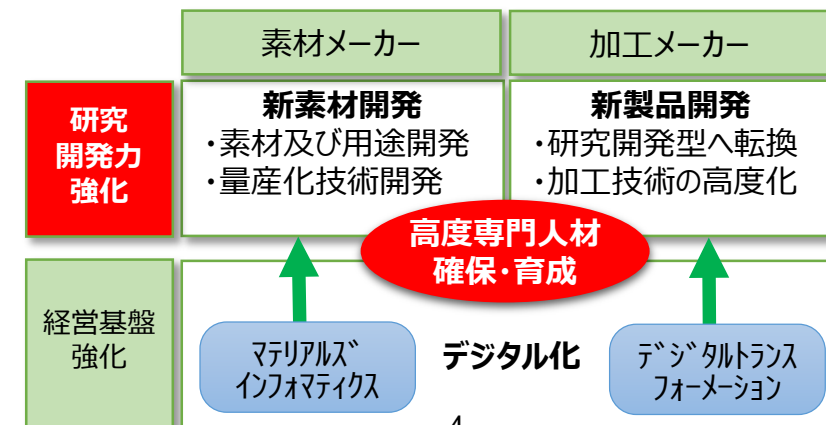
## ものづくり関連産業の集積状況



## 産業分析と施策の方向性

### 【方向性】

産業構造変革に対応する成長分野進出、事業転換を促進



### 【ターゲット市場】

- 航空機・エネルギー**  
・高効率航空機エンジン  
・電動航空機  
・風力発電  
・蓄電池 等
- モビリティ・物流**  
・電気自動車  
・燃料電池・水素自動車  
・ドローン  
・空飛ぶ車（eVTOL） 等
- 半導体・情報通信**  
・半導体製造装置  
・DX関連機器 等
- 医療・バイオ等**  
・医療・ヘルスケア  
・木質系バイオ素材（CNF等） 等

- 強み**  
素材産業、素材加工等の関連産業が集積
- 弱み**  
多くの中小企業が下請型で製品開発力が不十分
- 機会**  
脱炭素化進展等による成長市場の拡大
- 脅威**  
EV化等脱炭素化による産業構造の変革

# 地方大学・地域産業創生交付金事業の取組

内閣府交付金事業「たたらプロジェクト」により、世界に通ずるオンリーワンの研究開発・産業振興を産学官の総力を挙げて推進

## 島根県「先端金属材料グローバル拠点の創出 - Next Generation TATARA Project -」



知事の主導による産学官金の緊密な連携の下、地域の資源・特性を活かし、「先端金属材料の中心地『島根』」を創出（独フラウンホーファーモデル）

**【島根大学】金属材料（超耐熱合金、アモルファスリボン）に関するトップレベル研究の実践と地域産業が求める高度専門人材の育成**

**改革 「次世代たたら協創センター(NEXTA)」の設置**

センター長：ロジャー・リード教授（オックスフォード大学）

- 航空機産業PJ
- モーター産業PJ
- 人材育成PJ

**改革 トップレベル研究・教育の実践**

- ・オックスフォード大学との共著論文4件
- ・オックスフォード大学教員陣の授業による世界最先端のグローバル教育（R4～5科目へ増）



**改革 大学運営体制の強化**

- ・日立金属(株)から非常勤理事を登用
- ・日立金属(株)からクロアポ等による研究者の受け入れ

人材供給・研究成果

好循環を創出

共同研究・人材育成支援

**【特殊鋼産業クラスター】**

日立金属株式会社  
関連企業グループ SUSANOO 等

**【航空機産業PJ】**

新素材開発（超耐熱合金）  
大型エンジン部品国産化



**【モーター産業PJ】**

高効率モーターコアの開発



**【松江高専】**

- ・金属加工専門人材育成
- ・単位互換による連携教育
- ・島根大学大学院への進学促進

連携

**オックスフォード大学**

- 東京工業大学
- 岐阜大学
- 熊本大学

連携・支援

**企業との共同研究  
事業規模の拡大**

（たたらプロジェクト関連）

125,607千円 ⇒ 268,700千円  
(R1) (R3)

地元企業等との共同研究に発展

**地域のオープンイノベーション  
拠点として発展**

R3年4月 新研究棟が供用開始

企業ラボスペースを設置し2社が利用

地元企業の研究開発型への転換を促すため、

「NEXTAフォーラム」をR3から開設し

連携企業を拡大（5回開催、250名参加）

**高大連携の取組による  
ものづくりへの関心喚起**

リード教授による高校向け特別講義  
(R1：200名 R2：98名)

高校生に対する5日間の金属工学実習  
プログラム (R1：19名 R3：17名)

⇒ 5名が総合理工学部へ入学 (R1)

**県内への人材供給**

プロジェクト関連授業の受講生の  
県内製造業等へ就職実績 50名  
(H30～R3累計)

参考資料4

# 緊密な地域連携体制の構築と新学部の位置づけ

知事のリーダーシップとともに、地域の産学官金が一体となった**地域連携プラットフォーム**により、「ステークホルダー」一体型の運営・サポート体制を構築

## ■しまね産学官人材育成コンソーシアム

(2020年3月設立)

共同代表：島根県知事・島根大学長



✓産学官一体で地域を支え、地域で活躍する人材の育成と県内定着を目指す！

✓産学官による対話・課題等の共有・発信

県内就職率のさらなる向上

若者の育成と定着に向けた意識・理解の共有

人材供給  
県内定着  
リカレント教育

企業の求める人物像提示  
理系人材の育成供給  
インターシッププログラム提供

## 島根県版高等教育のグランドデザイン

産学官により高等教育の教育指針を共有

島根の未来を拓く  
地域に定着するSTEAM人材の育成

島根の持続的発展を支える新たな人流を創り出す**島根大学における「定員増による工学系新学部の設置」**を明示

高度専門人材輩出

先端素材の研究成果

共同研究 人材派遣

島根大学  
材料エネルギー学部

学部経営会議

外部有識者が学部運営に参画

エネルギー戦略を基に参入する成長分野や共同型のプロジェクトを協議・実践

産業界のニーズ集約  
プロジェクト外・研究テーマ提案

## ■しまね先端金属素材拠点創出会議

(2018年7月設立)

先端金属素材のグローバル拠点形成に向けた産学官金連携コンソーシアム

✓**県知事が議長**、県教育委員会、島根大学、日立金属、松江高専、島根県鐵工会、山陰合同銀行の代表者等が参画

✓島根県の強みである「特殊鋼関連産業」と島根大学等が連携して研究開発・人材育成を行い、「航空機」、「モーター」産業での事業拡大を実現し、先端金属素材の生産拠点を創出

## ■島根大学しまね産業振興会議

(2022年設立予定)

島根大学の知を活用した島根創生・産業振興に関するコンソーシアム

✓**県内経済7団体**(商工会議所連合会、商工会連合会、中小企業団体中央会、経済同友会、経営者協会、中小企業家同友会、JAしまね)の代表と**島根大学**(学長、常勤理事、副学長)が参画

✓県内産業界のニーズを吸い上げ、技術移転・企業育成等について協議

人材定着と産業振興の好循環

# 材料エネルギー学部の設置による地方創生

エネルギー課題を材料科学分野から理解し解決を目指すとともに、  
県内産業にテクノロジープルのイノベーションを起こし、島根創生に貢献

## 学生需要

- ・材料エネルギー学部への入学意向  
※島根県内高校生対象のアンケート調査より（2022年3月実施）  
現3年生の回答者639名中53名が入学意向あり  
アンケート回収率は11%のため、さらなる需要が見込める  
→県内からの本学部への進学者を30名と想定すると、  
2倍以上の需要見込

## 国の戦略

- ・**マテリアル革新力強化**  
産学官共創による迅速な社会実装、データ駆動型研究等の加速
- ・**革新的環境イノベーション戦略**  
エネルギー転換（再生可能エネルギーの主力電源化）  
自動車・航空機等の電動化の拡大と環境性能の大幅向上
- ・**グリーン成長戦略**  
2050年カーボンニュートラルの実現  
→バイオものづくり強化
- ・**成長戦略・重点投資分野（新しい資本主義実現会議）**  
量子技術・AI技術・次世代医療・バイオ・クリーンエネルギー

エネルギー課題を解決するための  
素材の高効率化、高性能化を図る  
研究開発とそれを推進する工学系  
の高度専門人材を育成する先鋭的  
な学部形成により地方創生を実現  
するロールモデルへ

地方創生

大学改革

エネルギー  
変革

マテリアル起点の  
製造業DXを推進

エネルギー戦略を  
ベースに  
革新的素材開発・研究

## 材料エネルギー学部

学部定員80名

3年次編入定員5名

マテリアル

先端金属材料

ナノ・機能性材料

バイオマテリアル

コンピューティング

プログラミング・AI

データエンジニアリング

シミュレーション

エネルギー戦略



### ▶養成する人材像

- ・世界的なエネルギー課題を俯瞰的に理解し、持続可能な社会の構築に材料分野から貢献できる高度専門人材
- ・材料工学とインフォマティクスの知見スキルとの融合によりグローバルな視点から企業におけるイノベーションを創出し、デジタル化の推進や地域産業の振興に貢献できる人材

## 素材力を活かした 特殊鋼産業の高度化

- 超耐熱合金  
→航空エンジン主要部材
- アモルファス合金箔  
→省エネモーターコア

次世代たたら  
協創センター

総合理工学部

医学部

オープンイノベーション  
推進本部

数理・データサイエンス  
教育研究センター



# カリキュラムの特色 ~マテリアル起点の社会実装教育~

## 身に付く能力

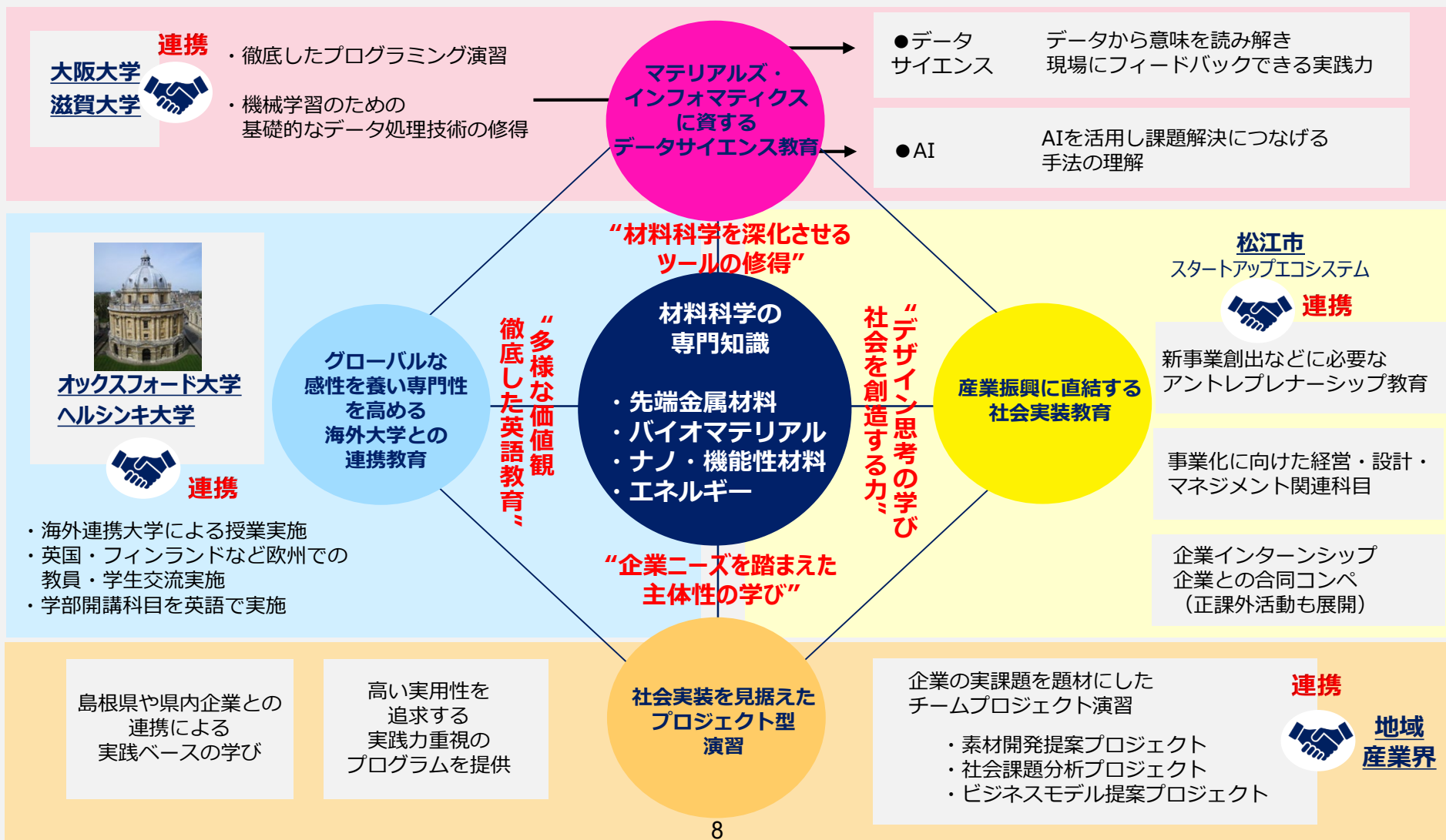
エネルギー課題を俯瞰的に理解し、材料工学分野の知識・技能を身につけ新材料の研究開発を先導することができる

IoT・データ活用技術を習得し、材料工学分野を始め広く応用することができる

国際的な動向を認知し、広い視野、教養と協調性により、多様な人とコミュニケーションを取ることができる

未知の課題に粘り強く取り組み、デザイン力をもって、創造的に解決策を見出すことができる

地域課題を理解し、身に付けた知識・技能を地域貢献に活かすことができる



# 教 育 課 程 等 の 概 要

(材料エネルギー学部材料エネルギー学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国語(英語)	英語ⅠA	1前	1				○								兼7	クラス別
	英語ⅠB	1後	1				○								兼6	クラス別
	英語ⅡA	1後	1				○								兼7	クラス別
	英語ⅡB	2前	1				○								兼7	クラス別
	英語ⅢA (English Interaction)	2後	1				○								兼1	
	英語ⅢB (English Presentation)	3前	1				○								兼1	
	英語Ⅳ	1・2・3・4前後		1				○							兼2	クラス別
小計(7科目)	—	—	6	1	0		—		0	0	0	0	0	兼13		
外国語(初修外国語)	ドイツ語Ⅰ ※	1前	2				○								兼3	週2回 クラス別
	ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4後		1			○								兼3	クラス別
	フランス語Ⅰ ※	1前	2				○								兼1	週2回
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4後		1			○								兼1	
	中国語Ⅰ ※	1前	2				○								兼4	週2回 クラス別
	中国語Ⅱ	1・2・3・4後		1			○								兼4	クラス別
	韓国・朝鮮語Ⅰ ※	1前	2				○								兼3	週2回 クラス別
	韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2・3・4後		1			○								兼3	クラス別
	(注) ※印から必修科目として1科目を選択															
小計(8科目)	—	—	8	4	0		—		0	0	0	0	0	兼11		
健康・スポーツ／文化・芸術	健康スポーツ ※	1前	2				○								兼1	
	芸術文化Ⅰ(音楽) ※	1・2前後	2				○								兼1	
	芸術文化Ⅰ(美術) ※	1・2・3前後	2				○								兼1	
	芸術文化Ⅰ(島根の祭りと芸能) ※	1後	2				○								兼1	
(注) ※印から必修科目として1科目を選択																
小計(4科目)	—	—	8	0	0		—							兼4		
情報科学	情報科学	1前	2			○	※			1					兼1	講義12 演習3
	小計(1科目)	—	—	2	0	0		—	0	1	0	0	0	兼1		
数学サイエンス	数理・データサイエンスへの誘い	1・2・3・4前	2			○									兼3	
	小計(1科目)	—	—	2	0	0		—	0	0	0	0	0	兼3		
入門科目(人文社会科学分野)	論理学	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	行為と価値	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	自己と世界	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	心の世界	1・2・3・4前	2			○									兼1	共同
	心の不思議	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	日本人の宗教と死生観	1・2・3・4前	2			○									兼1	地域志向科目
	異文化との出会い	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	東アジアの歴史と文化	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	小説の構造	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	日本語のしくみ	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	王朝の文学	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	生成文法入門	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	日常生活と犯罪学	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	教養としての政治	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	日本経済を見る眼	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	世界経済を見る眼	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	現代経済へのアプローチ	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	国際農村開発概論	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	医療経済論(看護学科)	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	地図の歴史	1・2・3・4前	2			○									兼1	地域志向科目
	基礎社会学Ⅰ	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	知ることと生きること	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	心の形成	1・2・3・4前	2			○									兼2	
	映像タイポグラフィ論	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	現代芸術の世界	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	現代芸術の思想	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	東アジアのこゝろと文学	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	英語と日本人	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	古代出雲の考古学	1・2・3・4前	2			○									兼1	地域志向科目
	山陰の歴史-古代・中世-	1・2・3・4後	2			○									兼1	地域志向科目
	山陰の歴史-近世・近現代-	1・2・3・4前	2			○									兼2	
	考古学からみた古代山陰の世界	1・2・3・4後	2			○									兼1	地域志向科目
	企業と法	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	現代社会と法・人権	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	情報化社会と経済	1・2・3・4前	2			○									兼1	地域志向科目
	国際化のなかの地域経済	1・2・3・4後	2			○									兼1	
	基礎社会学Ⅱ	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	地域開発と環境	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	フランスの社会と文化	1・2・3・4前	2			○									兼1	
	考古学からみた韓半島の先史・古代文化	1・2・3・4前	2			○									兼1	
山陰のこゝろ	1・2・3・4前	2			○									兼1		
大学教育論-島根大学と社会-	1・2・3・4前	2			○									兼2		
観光学入門	1・2・3・4前	2			○									兼2		
スタートアップ・イングリッシュA	1・2・3・4前	1			○									兼1		





ナ分野	情報と地域ーオープンソースと地域振興	2・3・4後	2		○											兼1	地域志向科目
	R u b yプログラミング	3・4前	2		○											兼1	地域志向科目
	開発フレームワーク	1・2・3・4前	2		○												
	山陰地域の自然災害	1・2・3・4前	2		○											兼6	地域志向科目
	食の守り方のあゆみ	1・2・3・4前	2		○											兼1	
	食の守り方のあゆみB	1・2・3・4後	2		○											兼1	
	地域医療・介護と地方創生	1・2・3・4前	2							○						兼1	集中
	小計 (21科目)	—	0	42	0	—				0	0	0	0	0	0	兼87	
発展科目 (学際分野)	くらしの中の製作技術	1・2・3・4前	2						○							兼2	
	くらしの中の製作技術	1・2・3・4後	2						○							兼2	
	海外研修・学習体験	1・2・3・4前後	1			○										兼1	
	人と職業	2・3・4後	2		○											兼1	
	中山間地域フィールド演習	2・3・4前	3			○										兼1	地域志向科目, 集中
	酒一杯の酒から覗く学問の世界	1・3・4後	2		○											兼7	地域志向科目
	死と人間	3・4後	2		○											兼7	
	フィールドで学ぶ「斐伊川百科」	1・2・3・4前	2		○											兼17	地域志向科目
	地域博物館へのいざない	1後	2		○											兼4	
	島根学	1・2・3・4後	2		○											兼1	地域志向科目
	環境問題通論A	1・2・3・4前	2		○											兼8	
	環境問題通論B	1・2・3・4後	2		○											兼9	
	環境教育フィールド科学	1・2・3・4前	2		○											兼2	集中
	教育研究のための統計法	1・2・3・4前	2		○											兼3	
	ジオパーク学入門	1・2・3・4前	2		○											兼14	
	ジオパーク学各論	1・2・3・4後	2		○											兼14	
	ジオパーク学演習	2・3・4前	2			○										兼5	集中
	ワークショップスキル入門 (地域の課題解決をめざして)	1・2・3・4後	2		○											兼1	
	地域医療学	1・2・3・4後	2		○											兼12	
	ものづくりと創造性	1・2・3・4前	2		○											兼1	
	教育から地域を魅せる	1・2・3・4前	2			○										兼2	集中
	グローバル課題解決型研修 (タイ:観光開発の現状と課題)	1・2・3・4通年	2							○						兼1	集中
	イノベーション創成基礎セミナーⅠ	1前	2			○										兼3	
	イノベーション創成基礎セミナーⅡ	2後	2			○										兼3	集中
	グローバルイシュー実践海外研修	1・2・3・4通年	2							○						兼1	集中
	海外課題解決型就業体験プログラム	1・2・3・4通年	2							○						兼1	集中
	観光の展開ー新しい観光の発掘ー	1・2・3・4後	2		○											兼1	
	医療倫理・プロフェッショナリズム	1・2・3・4前	2		○											兼13	
小計 (28科目)	—	0	56	0	—				0	0	0	0	0	0	兼137		
社会 人力 養成 科目	大学生の就職とキャリア	1・2・3後	2		○											兼1	
	ジェンダー - 性を科学する -	1・2・3・4後	2		○											兼12	
	地域社会の生活と安全	1・2・3・4前	2		○											兼1	
	地域社会体験Ⅰ	1・2・3・4前後	1		○											兼2	
	地域社会体験Ⅱ	1・2・3・5前後	2		○											兼2	
	出雲文化学	1・2・3・4前	2		○											兼13	
	ジャーナリズムと地域社会	1・2・3・4後	2		○											兼6	
	島根の企業と経済	1・2・3・4前	2		○											兼1	集中
	ボランティアと障がい者支援	1・2前	2		○											兼1	地域志向科目
	障がい者支援の実際	1・2・3・4後	2		○											兼1	
	地域未来論	1・2・3・4後	2		○											兼5	
	地域プロジェクト型実習	1・2・3・4後	2							○						兼3	集中
	地域共創インターンシップA	2・3・4前	2							○						兼1	集中
	地域共創インターンシップB	2・3・4後	2							○						兼1	集中
	地域共創インターンシップC	2・3・4通年	4							○						兼1	集中
	地域社会と法Ⅰ:知識編	1・2・3・4前	2		○											兼1	
	地域社会と法Ⅱ:実践編	1・2・3・4後	2		○											兼1	
	囲碁で学ぶ考える力	1・2・3・4後	2		○											兼1	
	実例ビジネス開発論 ー社会構造の変化に対応する新しい価値の共創ー	2・3・4前	2							○						兼1	
	ライフキャリアデザインA	1・2・3・4前	2		○											兼1	
	ビジネススキル入門	1・2・3・4前	2		○											兼1	
	課題解決人材入門:東京圏と島根県の学生の対流・対話による 未来の共創	1・2・3・4前	2		○											兼1	集中
観光実践	1・2・3・4通年	2							○						兼1	集中	
S D G s 概論ー歴史的な背景・理論と実践に向けてー	1・2・3・4後	2		○											兼1		
小計 (24科目)	—	0	49	0	—				0	0	0	0	0	0	兼60		

基盤科目	材料科学概論 I	1前	2			○		12	6	1	4		共同	
	材料を学ぶための基礎物理	1前	2			○		1						
	材料を学ぶための基礎化学	1前	2			○			2					
	行列と行列式	1後	2			○							兼1	
	材料科学概論 II	1前	2			○		1						
	材料物理化学基礎	1後	2			○		1						
	プログラミング	1後	1				○		1		1		※講義	
	小計 (7科目)	—	13	0	0		—	12	6	1	4	0	兼1	—
	専門教育科目	材料評価学	2後	2			○		1					
		資源循環化学	3前	2			○		1					
		材料組織学	2前	2			○			1				兼1
		材料力学	2前	2			○			1				
		鉄鋼材料学	2後	2			○		1					
材料強度学		2後	2			○		1						
機能材料学		3前	2			○		1					兼2	
実用金属材料学		3前	1			○		1						
材料物理化学		2前	2			○			2					
有機材料化学		2前	2			○		1						
無機固体材料化学		2前	2			○		1						
高分子材料化学		2後	2			○		1						
セラミックス化学		2後	2			○		1						
化学工学		3前	2			○		1						
マテリアルズ・インフォマティクス基礎		1後	1			○			1				兼1	
データ構造とアルゴリズム		2前	2			○		2						
マテリアルズ・インフォマティクス応用		3前	2			○			1				兼1	
相平衡の熱力学と状態図入門		3前	2			○			1				兼1	
材料系エンジニアのためのエネルギー概論		1後	2			○		1					兼1	
カーボンニュートラル社会のための材料学		2前	2			○		1					兼1	
新材料・エネルギー技術で新たな社会を作り上げるアントレプレナーへの道		1通年	2				○	12	6	1	4		兼1	共同 ※講義
地域創生論		2後	2			○		1						
MOT・技術者倫理概論		2後	2			○								兼3
確率・統計		2前	2			○								兼1
外書講読		3後	2				○							
基礎学生実験		2前	1				○	12	6	1	4			
学生実験 I		2後	2				○	12	6	1	4			
学生実験 II		3前	2				○	12	6	1	4			
卒業研究 I		3後	2				○	11	6	1	4			
卒業研究 II		4前	2				○	11	6	1	4			
卒業研究 III		4後	4				○	11	6	1	4			
経年損傷と材料の科学		2後		2			○		1					
溶接・接合工学		3後		1			○	1						兼1
塑性加工学		3後		1			○	1						兼1
腐食防食学		3後		1			○	1						兼1
材料電気化学		3後		1			○	1						
環境浄化材料概論		3後		2			○	1						
粉体材料化学		3前		2			○	1						
先端有機材料化学		3前		2			○	1						
無機化学		3前		2			○							兼1
分析化学		3前		2			○							兼1
高分子化学		3前		2			○							兼1
生体材料学		3前		2			○	1						
生命工学概論		3前		2			○			1				
溶融加工学		3前		2			○							兼1
材料科学から社会を見る		1後		2			○	1						兼1
材料工学のフロンティア		3後		2			○	1						
NEXTAセミナー		1後		2			○	1						兼7
Materials Science		2後		2			○		1					
Introduction to high-temperature materials		4通		2			○	1						兼1
Introduction for polymer colloids and interfaces	3後		1			○	1						兼1	
IoT・コンピュータ入門	2後		2			○		1						
情報論	2後		2			○	1			1				
機械学習	3前		2			○	1							
情報セキュリティ	3前		2			○	1							
材料系エンジニアのための経済事情論	3前		2			○	1							
新材料・エネルギー技術を活かした事業化構想作り	2・3通年		2			○	12	6	1	4		兼1	共同 ※講義	
海外研修	3・4前後		1			○								
企業実践プロジェクト演習	3・4前後		2			○								
実践インターンシップ	3・4前後		2			○								
小計 (60科目)	—	61	52	0		—	12	6	1	4	0	兼28	—	
合計 (360科目)		—	106	595	0		—	12	6	1	4	0	—	
学位又は称号	学士 (工学)	学位又は学科の分野					工学関係							

卒業要件及び履修方法															授業期間等																																																																												
(卒業要件) 卒業のために必要な単位数は以下のとおりである。															1学年の学期区分	2学期																																																																											
															1学期の授業期間	14週																																																																											
															1時限の授業時間	100分																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">全学共通科目</th> <th colspan="5">専門教育科目</th> <th rowspan="3">自由 選択科目</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th colspan="5">基礎科目</th> <th colspan="5">教養育成科目</th> <th rowspan="2">基盤科目</th> <th rowspan="2">専門 必修科目</th> <th rowspan="2">専門 選択科目</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>外国語</th> <th>健康・スポーツ /文化・芸術</th> <th>情報科学</th> <th>数理・データ サイエンス</th> <th>計</th> <th colspan="3">入門</th> <th colspan="2">発展</th> <th>社会 人 力 養 成</th> <th>計</th> </tr> <tr> <th>英語</th> <th>初修 外国語</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>人文 社会 科学</th> <th>自然 科学</th> <th>学 際</th> <th>人文 社会 科学</th> <th>自然 科学</th> <th>学 際</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>14</td> <td colspan="4">人文社会4, 自然科学4</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>61</td> <td>20</td> <td>94</td> <td>4</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table>															全学共通科目										専門教育科目					自由 選択科目	合計	基礎科目					教養育成科目					基盤科目	専門 必修科目	専門 選択科目	計	外国語	健康・スポーツ /文化・芸術	情報科学	数理・データ サイエンス	計	入門			発展		社会 人 力 養 成	計	英語	初修 外国語				人文 社会 科学	自然 科学	学 際	人文 社会 科学	自然 科学	学 際					6	2	2	2	2	14	人文社会4, 自然科学4				12	13	61	20	94	4	124		
全学共通科目										専門教育科目					自由 選択科目	合計																																																																											
基礎科目					教養育成科目					基盤科目	専門 必修科目	専門 選択科目	計																																																																														
外国語	健康・スポーツ /文化・芸術	情報科学	数理・データ サイエンス	計	入門			発展						社会 人 力 養 成			計																																																																										
英語	初修 外国語				人文 社会 科学	自然 科学	学 際	人文 社会 科学	自然 科学	学 際																																																																																	
6	2	2	2	2	14	人文社会4, 自然科学4				12	13	61	20	94	4	124																																																																											
<p>1.全学共通科目</p> <p>○基礎科目 14単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初修外国語はドイツ語, フランス語, 中国語及び韓国・朝鮮語の中から1つを選んで履修する。</li> <li>・「健康・スポーツ/文化・芸術」は健康・スポーツと文化・芸術のどちらか一方を選んで履修する。</li> </ul> <p>○教養育成科目 12単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教養育成科目は, 「入門科目」, 「発展科目」, 「社会人力養成科目」の中から人文社会科学分野の科目4単位, 自然科学分野の科目4単位を含む計12単位分を履修する。</li> <li>ただし, 次の科目は必修科目とする。</li> <li>「基礎物理・化学」, 「数学基礎 I」, 「数学基礎 II」</li> </ul> <p>2.専門教育科目</p> <p>○基盤科目 13単位</p> <p>○専門教育科目 必修科目61単位 選択科目20単位</p> <p>○自由選択科目 4単位</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎科目, 教養育成科目, 専門選択科目から選択して履修する。</li> </ul> <p>(履修方法)</p> <p>1学期における履修科目の登録の上限:25単位</p>																																																																																											

**島根大学**  
**材料エネルギー学部 材料エネルギー学科**

**学生の確保の見通し等を記載した書類**

**目次**

(1)	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	1
①	学生の確保の見通し	1
ア	定員充足の見込み	1
イ	定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	3
ウ	学生納付金の設定の考え方	4
②	学生確保に向けた具体的な取組状況（予定）	4
(2)	人材需要の動向等社会の要請	5
①	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的	5
②	社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	5



## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ① 学生の確保の見通し

##### ア 定員充足の見込み

本学が新たに設置を計画している材料エネルギー学部（以下、「本学部」とする）の入学定員設定にあたっては、本学総合理工学部の志願実績、近隣地域の志願動向、高校生へのアンケート調査結果を総合的に判断し、80名の入学定員（3年次編入学定員5名）を設定することとした。

(本学におけるこれまでの入学実績)

表1-1、1-2のとおり、本学部に関連する現行の総合理工学部物理・マテリアル工学科及び物質化学科の志願倍率は、改組を行った2018年度以降は2.9倍以上と、問題なく志願者を確保できている。また、総合理工学部の定員充足率は103%であり、適正な規模で学生を確保できている。これまでの本学入学実績を踏まえれば、学生確保は十分に可能であると考ええる。

加えて、本学部では3年次からの編入学を受け入れる。定員は5名を予定しており、受け入れにあたっては、高等専門学校や短期大学を卒業または卒業見込みの者に限らず、大学既卒者や4年制大学在学者も含むものとし、多様な進路選択の可能性を提供する。3年次編入学定員の設定については、表1-3、1-4のとおり、これまでの本学既設学部における志願者等の実績を踏まえ、過去4年間の平均志願倍率は全学部で約4倍、総合理工学部でも約5倍であり学生確保は十分に可能であると考ええる。

表1-1) 島根大学総合理工学部学科別志願者数の推移

(前期日程、後期日程、特別入試のすべての入試の合計)

学科名	入学定員	志願者数(人)			
		2019	2020	2021	2022
物理・マテリアル工学科	73	219	320	240	210
物質化学科	73	247	308	217	209
地球科学科	50	153	277	147	136
数理科学科	50	159	392	166	154
知能情報デザイン学科	50	213	153	297	139
機械・電気電子工学科	64	185	309	195	282
建築デザイン学科	40	173	174	126	116
総合理工学部 計	400	1349	1933	1388	1246

表 1 - 2) 島根大学総合理工学部学科別志願倍率の推移

(前期日程、後期日程、特別入試のすべての入試の合計)

学科名	入学 定員	志願倍率			
		2019	2020	2021	2022
物理・マテリアル工学科	73	3.0	4.3	3.3	2.9
物質化学科	73	3.3	4.1	2.9	2.9
地球科学科	50	3.0	5.5	2.9	2.7
数理科学科	50	3.2	7.8	3.3	3.1
知能情報デザイン学科	50	4.1	2.8	5.8	2.8
機械・電気電子工学科	64	2.8	4.7	2.8	4.4
建築デザイン学科	40	4.3	4.2	3.1	2.9
総合理工学部 合計	400	3.3	4.7	3.4	3.1

表 1 - 3) 島根大学編入学入試志願者数の推移

学部名	募集 定員	志願者数 (人)			
		2019	2020	2021	2022
法文学部	10	27	28	39	33
医学部	10	123	78	53	103
総合理工学部	12	37	33	43	126
生物資源科学部	15	33	33	44	37
合計	47	220	172	179	299

募集定員は 2022 年度の定員を参考記載

表 1 - 4) 島根大学編入学入試志願倍率の推移

学部名	募集 定員	志願倍率			
		2019	2020	2021	2022
法文学部	10	2.7	2.8	3.9	3.3
医学部	10	6.2	7.8	5.3	10.3
総合理工学部	12	3.1	2.8	3.6	10.5
生物資源科学部	15	1.7	2.2	2.9	2.5
合計	47	3.5	3.7	3.8	6.4

募集定員は 2022 年度の定員を参考記載

(近隣地域の実績)

工学系学部における全国的な状況としては、近隣の類似学部として中国・四国地方の国立大学である鳥取大学、岡山大学、広島大学の志願状況は表2のとおり、約2倍を超えており、近隣地域においても需要があり、学生確保は十分に可能と考える。

表2) 近隣の国立大学工学系学部等への志願倍率の推移

大学・学部・学科名	入学 定員	志願倍率(※)			
		2019	2020	2021	2022
鳥取大学工学部	450	3.5	2.7	3.1	2.7
岡山大学工学部	610	1.9	2.0	2.0	1.9
広島大学工学部	445	2.4	2.2	2.3	1.7

※ 各大学HPより(志願倍率は一般選抜(前期日程)を記載)

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

受験生からのニーズを把握するため、島根大学新学部「材料エネルギー学部(仮称)」設置構想に係るアンケート調査を2022年3月に実施した。(別添資料1のとおり)

調査対象は、島根県内の高校46校とし、令和5年4月に大学進学する予定の高校2年生及び令和6年4月に大学進学する予定の高校1年生を対象とした。(対象者は11,451名(うち高校2年生は5,625名))

調査の結果、現3年生(アンケート回答時2年生)の回答者639名のうち53名が新学部への入学意向があった。なお、本アンケートの回収率は11%であったことを踏まえると更なる需要が見込めると考えている。

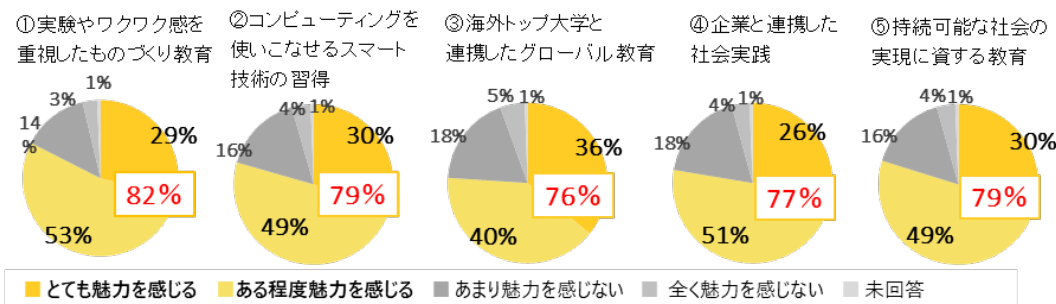
本学全体での県内入学者比率は約2割であり、本学部への県内入学者の比率を30%(24名)と想定したとしても2倍以上の需要見込みがあり、十分に学生確保が可能と考える。

加えて、本学部の教育内容に関する県内高校生のニーズについては、約8割が本学部の教育内容に魅力を感じると回答があり、十分に学生確保が可能と考える。

表3 新学部への県内高校生の進学希望者数(人)

	1. 進学したい	2. 条件があれば進学したい	3. 進学先の候補としたい	左記以外	1,2の合計
1年生	11	51	146	543	62
2年生	14	39	95	491	53

表4 新学部の教育内容に関する県内高校生のニーズ



### ウ 学生納付金の設定の考え方

他の学部と同様に、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に定める標準額と同額に設定する。

### ② 学生確保に向けた具体的な取組状況（予定）

新学部の学生確保にあたっては、以下①～⑦を中心に取り組む。

- ① 教職員による学校訪問  
本学部の専任教員等が、島根県内はもとより進学実績をもとにした中国地方の高校を中心に、学校訪問し広報活動を行う。
- ② 県内高等学校長・進路指導教員等への説明  
島根県内の高等学校長及び進路指導教員との意見交換を実施するとともに、新学部の広報を行う。
- ③ オープンキャンパス  
8月に開催するオープンキャンパスにおいて、新学部の広報を行う。
- ④ 高校への出張講義、高校による大学訪問  
本学の教員が高校等へ出向いて、あるいはオンラインにて講義を行う予定であり、当該講義も活用し、新学部の広報を行う。
- ⑤ SSH採択高校との連携事業  
本学では、県内高校のSSH事業（益田高等学校、出雲高等学校、松江南高等学校）に対して、課題研究への助言・指導などの協力を行っており、当該連携事業も活用し、新学部の広報を行う。
- ⑥ しまね産学官人材育成コンソーシアム  
島根県知事及び本学学長が共同代表にて取り組んでいる地域連携プラットフォームを活用し、新学部の広報を行う。
- ⑦ 各媒体による広報  
本学 HP、ツイッター等ソーシャルメディアや本学独自の広報誌（広報しまだい）等

も活用し、新学部の広報を行う。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

国により策定された「革新的環境イノベーション戦略」においては、世界のカーボンニュートラル及び過去のストックベースでのCO<sub>2</sub>削減（ビヨンド・ゼロ）を可能とする革新的技術を2050年までに確立するための社会実装が目指されている。

この戦略の主要な取組である「エネルギー転換」の原動力は、製品を構成する材料・素材の効率化、高付加価値化に帰着し、省資源化と脱炭素を両立する材料イノベーションが必至となっている。

このような緊急性の極めて高い国家的な重要課題に対応するため、材料エネルギー学部では、世界的なエネルギー課題を俯瞰的に理解し、持続可能な社会の構築に材料分野から貢献できる高度専門人材の育成を行う。また、定員増にあたっては、島根の産業の強みである材料・素材分野に目を向け、マテリアル分野での産学官共創によるイノベーション創出に貢献するため、材料工学とインフォマティクスの知見スキルとの融合によりグローバルな視点から企業におけるイノベーションを創出し、デジタル化の推進や地域産業の振興に貢献できる人材の育成を行うことを目的とする。

### ② 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学部の設置の検討に当たっては、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」への申請・採択に向けて、島根県や県内産業界とも連携し取り組んできた。

島根県の産業構造の外貨獲得シェアの41%を占めるマテリアル関連産業は域外から「外貨」を獲得する主要産業として県経済を牽引している。産業構造の変化が進む中、地域経済の発展のためには、島根県の強みであるマテリアル関連産業（素材＋加工）を軸とした研究開発力の強化と高度専門人材の確保・育成が必須である。

さらに、ものづくり関連産業の人材不足が量的・質的に顕著であり、地元産業界からも高度専門人材の供給を求める声は多く、定員増及び新学部開設への期待は大きい。具体的には、島根労働局の職業安定業務統計では、県内のマテリアルやソフトウェアの研究・開発技術者について、年平均で218人が不足している状況であり、県内企業訪問調査等においても県内企業の複数社が研究開発部門の増強計画や工場・設備等の増設計画が進んでいるところである。

そのような中、島根県知事と島根大学長が共同代表を務める島根県の地域連携プラットフォームである「しまね産学官人材育成コンソーシアム」において「島根県版高等教育のグランドデザイン」を策定しており、当該グランドデザインの中に、島根県における工学系新

学部の必要性や将来構想を明確に位置づけている。

加えて、島根県商工会議所連合会、島根県商工会連合会、島根県中小企業団体中央会、島根県経営者協会の代表から、別添資料2のとおり、工学系新学部設置に関する要望書を受領するなど、社会的、地域的な人材需要は十分であると考えている。

島根大学

材料エネルギー学部 材料エネルギー学科

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

別添資料 1	島根大学新学部「材料エネルギー学部（仮称）」設置構想に係るアンケート調査…	1
	（依頼） .....	1
	（アンケート） .....	2
	（パンフレット） .....	4
	（結果） .....	6
別添資料 2	島根県内経済団体からの要望書 .....	7

令和4年3月18日

高等学校長 各位

国立大学法人島根大学長  
服 部 泰 直

島根大学新学部「材料エネルギー学部（仮称）」設置構想に係る  
アンケート調査について（依頼）

拝啓 貴校ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本学の教育と研究にご協力いただき厚くお礼を申し上げます。

島根大学では、社会や地域の要請に応え、より良い教育・研究を推進するため、令和5年度から工学系の新たな学部「材料エネルギー学部（仮称）」の設置を構想しています。

つきましては、貴校生徒の皆様のニーズを把握し、新しい教育組織の充実のために活用させていただきたく、下記の要領でアンケート調査を実施させていただきます。年度末のご多用の折、大変恐縮ではございますが、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

実施対象 2年生（令和4年度新3年生）及び1年生（令和4年度新2年生）の生徒の皆様

実施方法 Webのアンケートフォームによる実施  
（アンケート用紙にURL及びQRコードを掲載しておりますので、アンケート用紙及びチラシを生徒の皆様に配付いただきますようお願いいたします。）

回答期限 令和4年4月3日（日）

【本件担当】

島根県松江市西川津町 1060

島根大学企画部企画広報課（長廻、青戸）

TEL：0852-32-6606、6605

Email：gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp



# 国立大学法人島根大学

## 「材料エネルギー学部（仮称）」設置構想に関するアンケート

国立大学法人島根大学では、2023年（令和5年）4月より、新たな学部として「材料エネルギー学部（仮称）」の設置を構想しています。

このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお尋ねし、島根大学の教育や構想中の材料エネルギー学部（仮称）の内容をより充実したものにするための参考とさせていただくものです。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありませんのでご協力をお願いいたします。

※このアンケートや資料に記載された内容はあくまで予定であり、内容が変更になる可能性もあります。

（本件担当） 島根大学企画広報課 長廻，青戸

TEL：0852-32-6606, 6605 メール：gad-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

**WEBの回答フォームからご回答をお願いします。**

回答フォーム URL <https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/nlT5f1N9wF>



Q1 はじめにあなた自身についてお尋ねします。

以下のそれぞれの項目について、当てはまるものに○、又は( )内に記入してください。

性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性 3. その他	学年 (1つに○)	1. 1年生 2. 2年生
高校名	( ) 高等学校		
所属クラス等 (1つに○)	1. 文系クラス(文系コース) 2. 理系クラス(理系コース)	3. コース選択はない 4. その他(具体的に： )	

Q2 あなたは、高校卒業後の進路について、現時点でどのような希望を持っていますか。

(あてはまるものすべてに○を付けて下さい。)

- |            |                 |           |
|------------|-----------------|-----------|
| 1. 国立大学へ進学 | 4. 短期大学へ進学      | 7. 未定     |
| 2. 公立大学へ進学 | 5. 専門学校、専修学校へ進学 | 8. その他( ) |
| 3. 私立大学へ進学 | 6. 就職           |           |

Q3 あなたは、現時点でどのような学問に興味がありますか。

(あてはまるものすべてに○を付けて下さい。)

※現時点で進学を希望されない方も、進学する場合を想定してお答えください。

- |           |                            |                              |
|-----------|----------------------------|------------------------------|
| 1. 工学     | 7. 文学(歴史学、哲学等含む)           | 13. 社会福祉学                    |
| 2. 理学     | 8. 外国語学・国際関係学              | 14. 健康・スポーツ科学                |
| 3. 総合科学   | 9. 法学(政治学を含む)              | 15. 生活科学(食物、栄養学、被服学、児童学等を含む) |
| 4. 農学・水産学 | 10. 経済学・経営学・商学             | 16. 教員養成・教育学                 |
| 5. 医・歯・薬学 | 11. 社会学<br>(観光学、マスコミ学等を含む) | 17. 芸術学                      |
| 6. 看護・保健学 | 12. 心理学                    | 18. その他( )                   |

※裏面へ続く

◆国立大学法人島根大学の新しい学部について、お聞きします。

※ここからは、「材料エネルギー学部（仮称）」のチラシを見てからご回答ください。

Q4 島根大学で新しく構想している「材料エネルギー学部（仮称）」には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。

（それぞれの特色について、あてはまる欄に1つ○を付けて下さい。）

特色		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	全く魅力を感じない
<b>①実験やワクワク感を重視したものづくり教育</b> 最先端の研究設備で実験したり、研究者や企業の方と交流しながら、ワクワクするような“ものづくり”を学べます。	→	1	2	3	4
<b>②コンピューティングを使いこなせるスマート技術の修得</b> データを活用して予測分析をしたり、最適な方法を見つけるなど、これからのデジタル社会で活躍できる力を身に付けます。	→	1	2	3	4
<b>③海外トップ大学と連携したグローバル教育</b> オックスフォード大学（英国）などの海外トップレベルの研究者から授業を受けられるほか、充実した英語教育や海外大学への留学を通して、グローバルに通用するコミュニケーション能力を身に付けることができます。	→	1	2	3	4
<b>④企業と連携した社会実践</b> 工学系の基礎知識や技術を実社会でどう生かしていくかについて、企業見学や課題解決型の授業、インターンシップなどを通して、企業等の現場で学ぶことができます。実社会ニーズを反映したチーム・プロジェクトにより、コミュニケーション力や幅広い視野を身に付けることができます。	→	1	2	3	4
<b>⑤持続可能な社会の実現に資する教育</b> SDGsの達成や脱炭素社会の実現に貢献するため、環境やエネルギー課題を理解する力を身に付けることができます。	→	1	2	3	4

Q5 あなたは、島根大学「材料エネルギー学部（仮称）」が設置された場合、進学したいと思いますか。あなたの気持ちに近いものに1つ○を付けてください。

- |                |               |              |
|----------------|---------------|--------------|
| 1. 進学したい       | 3. 進学先の候補としたい | 5. どちらともいえない |
| 2. 条件があえば進学したい | 4. 進学したいと思わない |              |

Q6 上記 Q5 で 2 と回答した方は、どのようなことを重視していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |            |                           |                              |
|------------|---------------------------|------------------------------|
| 1. 教育環境の充実 | 3. 就職支援の充実                | 5. 自分の好きな科目による受験が可能<br>(科目 ) |
| 2. 経済的支援   | 4. 自分の専門分野以外にも幅広く学ぶことができる |                              |

・・・質問は以上です。ご協力ありがとうございました。・・・

# 材料 エネルギー 学部

島根大学

[ 仮 称 ]

令和5年設置構想中

こんな人にオススメ

1 “ものづくり”の基礎を学び、  
社会の発展に貢献したい。

2 実験を通して理論と実践を学び、  
社会課題を解決したい。

3 環境問題への関心があり、  
未来社会をよりよくしたい。

人とともに 地域とともに  
国立大学法人

島根大学

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL:0852-32-6606 0852-32-6605



島根から先端をゆけ

# 材料 エネルギー 学部

島根大学

[ 仮 称 ]

COMPUTING / ENERGY / INNOVATION /  
ENGINEERING / GLOBAL / DATA SCIENCE /  
COMMUNICATION ABILITY / INFORMATICS /  
PROJECT TEAM / BIO

[令和5年設置構想中]

# 島根大学×最先端工学「地域にイノベーションを起こす新学部の創設」

## 材料エネルギー学部 〔仮称〕

学部定員  
100名  
(予定)

大学の強みと地域特性である「素材」「材料」分野から、エネルギー課題や環境問題などの解決を目指します。

### 特色1 実験重視のワクワクする“ものづくり”

最先端の研究設備で実験をしたり、研究者や企業の方と交流しながら、ワクワクするような“ものづくり”を学べます。

### 特色2 海外トップ大学と連携したグローバル教育

オックスフォード大学(英国)などの海外のトップレベルの研究者から授業を受けられるほか、充実した英語教育や海外大学への留学を通して、グローバルに通用するコミュニケーション能力を身に付けることができます。

### 特色3 企業と連携した社会実践

島根では、産業界、大学、官公庁と連携した人材育成や研究開発が活発に行われています。工学系の基礎知識・技術を実社会でどう生かしていくかについて、企業見学や課題解決型の授業、インターンシップなどを通して、企業等の現場で学ぶことができます。



### 養成する人物像

グローバルな観点から地域の産業振興に貢献できるエンジニア

エネルギー課題を俯瞰的に理解し、脱炭素社会・SDGsの実現に材料分野で貢献できる人材

## CURRICULUM

# カリキュラムの特色

### デジタル社会で活躍できるデータ活用技術



- ・データ処理基礎学習
- ・徹底したプログラミング演習
- ・AIやデータ活用に必要な実践的学習

### 国際社会に通用するコミュニケーションスキル



- ・英語による確かなコミュニケーション能力の習得
- ・オックスフォード大学など海外トップレベルの大学教員による授業

### デザイン思考の学び



- ・起業家による体験談の講演
- ・デザイン思考・アイデア出し
- ・事業化に向けた経営、設計、マネジメント関連科目

### 材料・素材とエネルギーに関する学び



- ・未来を変える革新的な素材開発に向けた知識・技術の修得
- ・省エネ、カーボンフリー社会のための素材に関する学び

実社会ニーズを反映したチーム・プロジェクト演習

## GRADUATION

# 卒業後

## 幅広い分野で活躍

工学系の基礎知識・技術やデータサイエンス・AIを使いこなせる人材は、多くの企業等で必要とされています。

### ● 企業

- › 化学・素材系
- › 鉄鋼・金属関連
- › IT・通信関連
- › 繊維関連
- › 製薬関連
- › 食品関連 ほか

### ● 新規事業立ち上げ

### ● 起業家や組織のリーダー

など幅広い分野で活躍することができます。

※記載の内容は現在計画中の予定であり、変更される可能性があります。

●新学部設置構想のアンケートについて

対象者 (島根県内の高校生)	回答者	回収率	
1年	5826	751	13%
2年	5625	639	11%
<b>総計</b>	<b>11451</b>	<b>1390</b>	<b>12%</b>

※学年は令和3年度末時点の学年

●教育の特色に関する項目

①実験やワクワク感を重視したものづくり教育

(最先端の研究設備で実験したり、研究者や企業の方と交流しながら、ワクワクするような“ものづくり”を学べます。)

	1.とても魅力を感じる	2.ある程度魅力を感じる	3.あまり魅力を感じない	4.全く魅力を感じない	未回答	総計
1年生	218	397	105	21	10	751
2年生	186	339	86	28		639
<b>総計</b>	<b>404</b>	<b>736</b>	<b>191</b>	<b>49</b>	<b>10</b>	<b>1390</b>
<b>割合</b>	<b>29%</b>	<b>53%</b>	<b>14%</b>	<b>3%</b>	<b>1%</b>	<b>100%</b>

②コンピューティングを使いこなせるスマート技術の習得

(データを活用して予測分析をしたり、最適な方法を見つけるなど、これからのデジタル社会で活躍できる力を身に付けます。)

	1.とても魅力を感じる	2.ある程度魅力を感じる	3.あまり魅力を感じない	4.全く魅力を感じない	未回答	総計
1年生	223	361	135	24	8	751
2年生	196	324	89	29	1	639
<b>総計</b>	<b>419</b>	<b>685</b>	<b>224</b>	<b>53</b>	<b>9</b>	<b>1390</b>
<b>割合</b>	<b>30%</b>	<b>49%</b>	<b>16%</b>	<b>4%</b>	<b>1%</b>	<b>100%</b>

③海外トップ大学と連携したグローバル教育

(オックスフォード大学(英国)などの海外トップレベルの研究者から授業を受けられるほか、充実した英語教育や海外大学への留学を通して、グローバルに通用するコミュニケーション能力を身に付けることができます。)

	1.とても魅力を感じる	2.ある程度魅力を感じる	3.あまり魅力を感じない	4.全く魅力を感じない	未回答	総計
1年生	265	305	139	34	8	751
2年生	233	254	117	35		639
<b>総計</b>	<b>498</b>	<b>559</b>	<b>256</b>	<b>69</b>	<b>8</b>	<b>1390</b>
<b>割合</b>	<b>36%</b>	<b>40%</b>	<b>18%</b>	<b>5%</b>	<b>1%</b>	<b>100%</b>

④企業と連携した社会実践

(工学系の基礎知識や技術を実社会でどう生かしていくかについて、企業見学や課題解決型の授業、インターンシップなどを通して、企業等の現場で学ぶことができます。実社会ニーズを反映したチーム・プロジェクトにより、コミュニケーション力や幅広い視野を身に付けることができます。)

	1.とても魅力を感じる	2.ある程度魅力を感じる	3.あまり魅力を感じない	4.全く魅力を感じない	未回答	総計
1年生	194	385	140	23	9	751
2年生	174	326	112	27		639
<b>総計</b>	<b>368</b>	<b>711</b>	<b>252</b>	<b>50</b>	<b>9</b>	<b>1390</b>
<b>割合</b>	<b>26%</b>	<b>51%</b>	<b>18%</b>	<b>4%</b>	<b>1%</b>	<b>100%</b>

⑤持続可能な社会の実現に資する教育

(SDGsの達成や脱炭素社会の実現に貢献するため、環境やエネルギー課題を理解する力を身に付けることができます。)

	1.とても魅力を感じる	2.ある程度魅力を感じる	3.あまり魅力を感じない	4.全く魅力を感じない	未回答	総計
1年生	219	366	128	29	9	751
2年生	204	320	92	23		639
<b>総計</b>	<b>423</b>	<b>686</b>	<b>220</b>	<b>52</b>	<b>9</b>	<b>1390</b>
<b>割合</b>	<b>30%</b>	<b>49%</b>	<b>16%</b>	<b>4%</b>	<b>1%</b>	<b>100%</b>

●あなたは、島根大学「材料エネルギー学部(仮称)」が設置された場合、進学したいと思いますか。

あなたの気持ちに近いものを1つ選んでください。

	1.進学したい	2.条件があれば進学したい	3.進学先の候補としたい	4.進学したいと思わない	5.どちらともいえない	(空白)	総計
1年生	11	51	146	297	236	10	751
2年生	14	39	95	319	172		639
<b>総計</b>	<b>25</b>	<b>90</b>	<b>241</b>	<b>616</b>	<b>408</b>	<b>10</b>	<b>1390</b>

## 島根県商工会議所連合会、島根県商工会連合会、島根県中小企業団体中央会、島根県経営者協会の代表から、工学系新学部設置に関する要望書を受領（2022年3月）

貴学が構想している学部学生増員による「材料エネルギー学部（仮称）」を早期に設置いただきますよう、要望いたします。

我が国は、人口減少、少子高齢化、デジタル化による社会変革、エネルギー・環境問題、SDGs、脱炭素化の実現に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など多くの問題を抱えております。

島根県においては、若年層の就学・卒業、就業による県外転出が大きな課題となっており、貴大学をはじめとする高等教育機関や島根県、経済団体等で構成される「しまね産学官人材育成コンソーシアム」が一体となって課題解決の原動力になる人材の確保や育成に向かって動いております。

産業構造が大きな転換期にある中、わが国はもとより、世界的にみても特色ある、高い競争力を持った産業を育てていくことが強く望まれます。

当地域では、たたら製鉄の流れをくむ特殊鋼産業が県内製造業の付加価値額の2割以上を占める基幹産業として非常に重要な位置を占め、今も、航空産業など新たな分野への挑戦が続けられています。

こうした状況の中、貴大学において「材料エネルギー学部（仮称）」の設置準備が進められておりますことに大きな期待を寄せているところであります。

今後のSDGs達成や、脱炭素化社会の構築を見据え、材料科学分野を通じたエネルギー課題の解決や新産業・新事業の創出等において地域にとって役立つ研究を行い、その成果を地域に還元することが極めて重要になってきます。

その担い手となる高度専門技術者を育成していくことは、島根県の産業全体の発展とグローバルな市場競争に打ち勝っていくことに大きく寄与するものと考えております。

島根大学、とりわけその理系学部が存在意義を高め、地域の産業や企業とその課題を共有し、大学の専門的な研究による成果を地元企業に還元していくことは大きな使命です。そのためには、産業界と日常的に交流を深め、産学連携と研究者の育成強化を図っていくことが大変重要であると考えます。

つきましては、島根県の産業の振興、発展に寄与する「材料エネルギー学部（仮称）」設置を早期に実現されるよう、強く要望します。



令和4年3月25日

島根県商工会議所連合会

会頭 田部長右衛門



島根県商工会連合会

会長 高橋日出男



島根県中小企業団体中央会

会長 杉谷 雅



一般社団法人島根県経営者協会

会長 久保田一朗



# 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ハツリ ヤスナオ 服部 泰直 <平成27年4月>		理学博士		島根大学 学長 <平成27.4～令和6.3>

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。